

国立大学法人

# 三重大学概要 2020



〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577  
TEL: 059-232-1211 (代)

2020年7月 編集発行 / 三重大学企画総務部総務チーム広報室



# MIE UNIVERSITY



## 目次

● 理念	3
● 三重大学を創る6つのビジョン	4
● 三重大学を数字で見る	5
● 運営組織	7
● 組織図	8
● 沿革	9
● 役員	11
● 学部・大学院(専攻・講座)／ 教育研究施設等	13
● 三重大学リサーチセンター	17

## 《資料編》

● 職員数	18
● 学生定員及び現員	19
● 教育学部附属学校の定員等	19
● 奨学生数	20
● 令和2年度入学志願者数及び入学者数	21
● 都道府県別 入学志願者及び入学状況(学部)	21
● 令和元年度 卒業者数・修了者数・学位授与数	22
● 令和元年度就職状況	23
● 産業別就職状況(学部)・地域別就職 状況(学部)・都道府県別就職状況(学部)	25
● 外国人留学生数(学部・研究科等別)	26
● 令和元年度 国際交流事業一覧(経費助成対象)	26
● 国際交流	27
● 附属図書館	29
● 附属病院	30
● 令和2年度予算	31
● 令和元年度科学研究費助成事業及び 民間等との共同研究等受入れ状況	31
● 厚生保健施設等	32
● 土地・建物	32
● 地域との相互友好協力に関する協定等	33
● 公開講座等	33
● 三重大学地域貢献活動支援	34
● 部局等配置図	35
● 位置図	37
● 本学への交通案内	37
● 部局等所在地	38

## 三重大学概略

■ 役員	9人	■ 収入・支出予算	47,812百万円
■ 教員	751人	■ 土地面積	5,511,692㎡
■ 職員	1,224人	■ 建物面積	321,057㎡
■ 学部学生	5,960人	■ 蔵書数	947,980冊
■ 大学院生	1,084人		
■ 留学生数	204人		
■ 海外大学間協定数	25力国・地域、66大学・機関		
■ 海外大学学部間協定数	26力国、55大学・機関		

## 令和2年度学年暦

■ 入学式	4/8*	■ 後期授業開始	10/1
■ 前期授業開始	4/10	■ 後期授業終了	2/10
■ 三重大学記念日	5/31	■ 学位記授与式	3/25
■ 前期授業終了	8/10		

\*新型コロナウイルスの影響拡大に伴い中止



三重大学は、伊勢湾の海、鈴鹿山脈・布引山地の樹々の緑、白い雲が浮かぶ大空に囲まれた美しい自然環境の中にあります。この素晴らしい自然に恵まれたキャンパスで、社会のリーダーとなる逞しい人材の育成、独創的で自由な発想に基づく高度な専門研究が活発に行われています。

現在の日本社会では少子高齢化、人口減少、グローバル化が凄まじいスピードで進みつつあり、都市部と地方との格差の広がり、エネルギー・環境問題の深刻化、景気・経済の不透明感など、多くの課題が指摘されています。このような困難な時代にこそ、「知の拠点」としての大きな期待が大学には寄せられています。三重大学は、その教育・研究成果を広く社会へと発信し、社会の発展・活性化のために精一杯の努力をしていきます。

学長 駒田 美弘

## 基本理念

三重大学は、総合大学として、教育・研究の実績と伝統を踏まえ、「人類福祉の増進」「自然の中での人類の共生」「地域社会の発展」に貢献できる「人材の育成と研究の創成」を目指し、学術文化の受発信拠点となるべく、切磋琢磨する。

## 三重の力を世界へ

地域に根ざし、世界に誇れる  
独自性豊かな教育・研究成果を生み出す。  
～人と自然の調和・共生の中で～



この学章の様式は、文様として人生の實りを表す稲穂と、三重大学の理念である三翠（御空、波、森）を表すための浪輪（ROURIN）文様をアレンジした形態の二重リング構造。

二つの文様を絡め二重リング構造としたのは、大学の理念と卒業生の人生の實りが永きに渡って良好な関係を持ち続けるようにとの願いを込めたもの。

また、紋章は通常左右対称形が多いが、三重大学の自由で進取な校風を表す為に敢えて左右非対称形とした。「SINCE1874」は三重大学の前身である師範学校の創立年であり、現状の5学部の前身中最も古いものである。



## 安心感のある運営と改革

### ●学長のリーダーシップ

第3期中期目標に定められた“持続的な競争力と高い付加価値を生み出す大学の構築”と教職員の生活を守る大学運営に、リーダーシップを発揮します。

### ●分析企画力の向上

IR（機関調査）機能を強化し、適切な業務分析に基づく透明性のある大学改革を前進させます。

### ●財務基盤の強化

附属病院を効率的、安定的に経営し、大学の財務基盤を強化します。

## 社会の未来を創る高等教育

### ●大学の役割の明確化

地域圏唯一の国立大学法人としての役割を明確化し、三重大学の強みを活かした教育研究活動を実践します。

### ●リーダーの育成

本学の教育目標に掲げる「感じる力」、「考える力」、「コミュニケーション力」、「生きる力」を発揮し、社会を牽引する自立したリーダーを育てます。

### ●高度専門職業人の養成

教養教育の充実とともに学部専門教育、大学院教育の進展を図り、高い教養を持って社会で活躍する高度専門職業人を養成します。

## 女性・若手に優しいキャリア支援

### ●子育て世代に優しい職場環境

保育施設の整備、病児保育や学童保育の拡充、タイムシェアリングに取り組み、ワークライフバランスに配慮した家族と子どもに優しい環境を創ります。

### ●女性教職員の積極的登用

女性の視点を大切にし、女性教職員のキャリア支援を推進します。

### ●若手教職員の成長支援

テニユアトラック制度、研究支援体制、教職員の能力向上を目指すSD/FDを充実させ、若手教職員の成長を支援します。

## 大学発の地域イノベーション

### ●地域活性化の拠点形成

地域活性化の中核的拠点機能の充実に向けて、地域イノベーションをさらに進展させます。

### ●産学官民連携の推進

産業界や行政、NPOへの積極的な支援と地域大学間ネットワークの構築を推進し、知的財産の創造、技術革新の創出を実現します。

### ●大学主導の地域創生

地場産業の振興、地域医療の充実、防災減災などの地域課題に取り組み、持続性のある魅力的な地域創生に貢献します。

## 多様で独創的な学術研究

### ●研究基盤の整備

日本の将来を拓く“研究の多様性”を維持し、研究者の持つ意欲・能力を最大化する研究実施基盤と研究費獲得基盤を整備します。

### ●多分野融合型研究の活性化

総合大学の強みと中規模大学の機動力を活かした多分野融合型研究を活性化させます。

### ●研究成果の社会への還元

研究成果を積極的に発信し、地域社会と国際社会の持続発展に寄与する大学を目指します。

## 自然と共生するグローバル・キャンパス

### ●教育研究環境のグローバル化

外国人留学生獲得と外国人教員招聘、海外拠点形成を強化し、グローバル・キャンパスを実現します。

### ●世界から評価される教育研究水準の達成

国際通用性のある教育、学生の留学、教職員の海外研修、国際共同研究を推進します。

### ●自然豊かなグリーン・キャンパス

学生と外国人留学生が、自然豊かで快適な環境で共に学ぶグリーン・キャンパスを目指します。



## 学部

**5** 学部 **9** 学科 **1** 課程

- 人文学部 文化学科、法律経済学科
- 教育学部 学校教育教員養成課程
- 医学部 医学科、看護学科
- 工学部 総合工学科
- 生物資源学部 資源循環学科、共生環境学科、生物圏生命化学科、海洋生物資源学科

## 大学院

**6** 研究科

- 人文社会科学研究科
- 教育学研究科
- 医学系研究科
- 工学研究科
- 生物資源学研究科
- 地域イノベーション学研究科

## 教職員数

(令和2年5月1日現在)

**1,984** 人

役員 **9** 人 教員 **751** 人

職員 **1,224** 人

## 学部学生数

(令和2年5月1日現在)

**5,960** 人

## 外国人留学生数

(令和2年5月1日現在)

**204** 人

## 大学院学生数

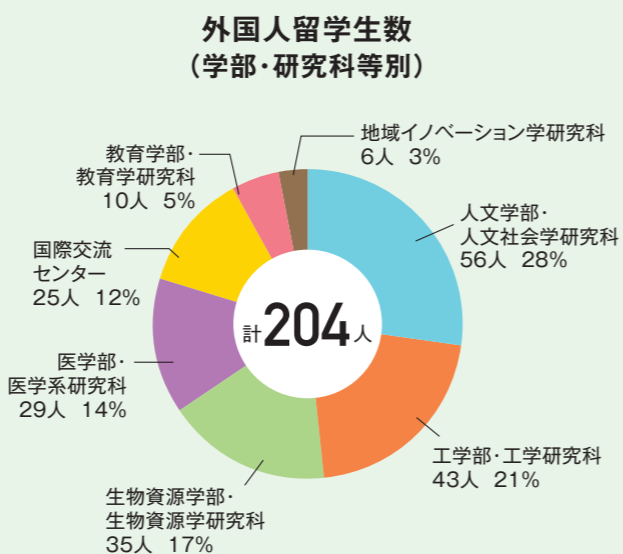
(令和2年5月1日現在)

**1,084** 人

## 海外留学・派遣学生数

(令和元年度)

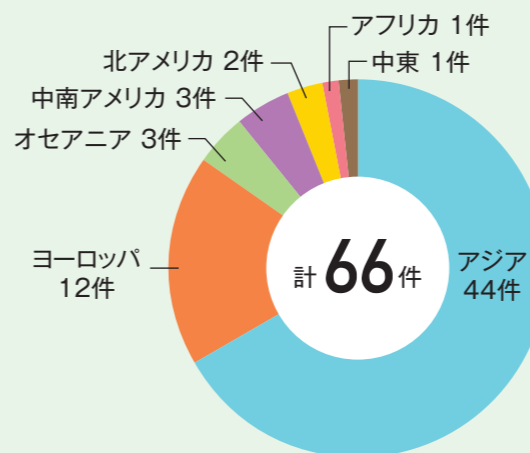
**394** 人



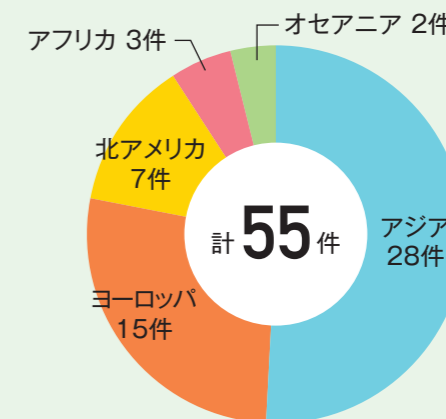
## 国際交流状況

(令和2年4月1日現在)

### 海外大学間協定数(25ヵ国)



### 海外大学学部間協定数(26ヵ国)



## 予算規模

(令和2年度)

収入・支出 **47,812** 百万円

## 民間企業等との共同研究件数

(令和元年度)

件数 **2,004** 件

金額 **2,071** 百万円

## 土地・建物面積

(令和2年4月1日現在)

土地面積 **5,511,692** m<sup>2</sup>  
(うち借受地 92,000m<sup>2</sup>)

建物面積 **321,057** m<sup>2</sup>

## 附属図書館

和書 718,119 冊 洋書 229,861 冊

計 **947,980** 冊 (令和2年4月1日現在)

入館者総数 **313,552** 人 (令和元年度)

## 医学部附属病院

(令和元年度)

病床数 **685** 床

入院患者延数 **211,641** 人

1日平均入院患者数 **578.3** 人

外来患者延数 **347,855** 人

1日平均外来患者数 **1,449.4** 人



監事 (2名)

役員会  
(学長、理事7名)

(重要事項は役員会の議を経る)

学長

学長顧問 (3名)

学長補佐 (6名)

- 理事 (教育担当)・副学長
- 理事 (研究・社会連携担当)・副学長
- 理事 (総務・財務・基金・企画・評価担当)・副学長
- 理事 (情報・国際・環境担当)・副学長
- 理事 (産学連携担当)・副学長/非常勤
- 理事 (法務担当)・副学長/非常勤

- 副学長 (経営担当)・事務局長
- 副学長 (教育担当)
- 副学長 (学生総合支援・インターンシップ担当)
- 副学長 (研究担当)
- 副学長 (社会連携担当)
- 副学長 (産学連携担当)
- 副学長 (地域創生担当)
- 副学長 (国際交流担当)
- 副学長 (広報担当)
- 副学長 (危機管理担当)
- 副学長 (附属病院担当)

経営協議会

(主に経営面を審議)

学外有識者 10名  
学長、理事、学内者 9名

教育研究評議会

(主に教学面を審議)  
(学長、理事、学内者30名)

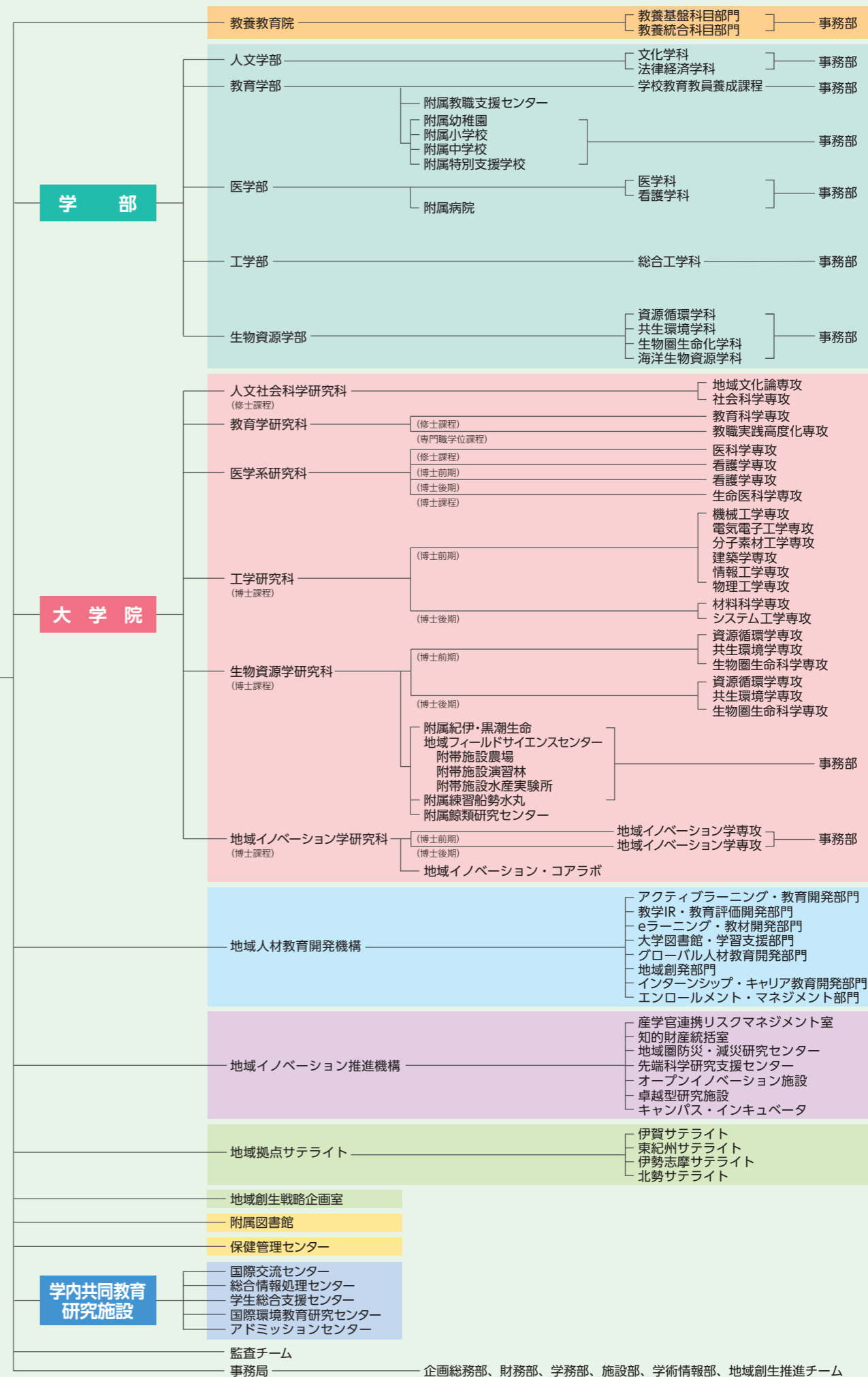
学長選考会議

学外者6名  
学内者6名  
理事1名

(学長を選考)



## 三重大学

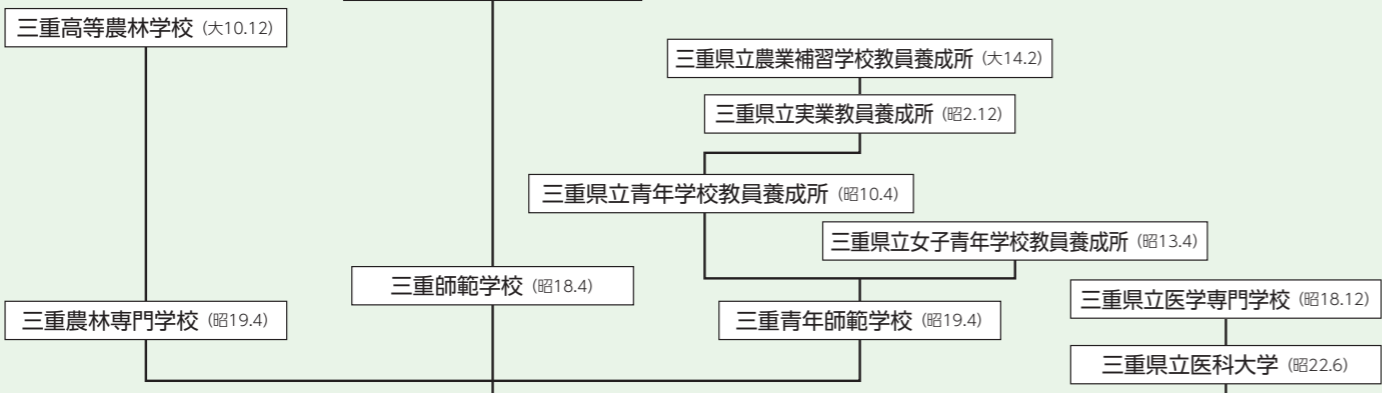


1874  
明治7年

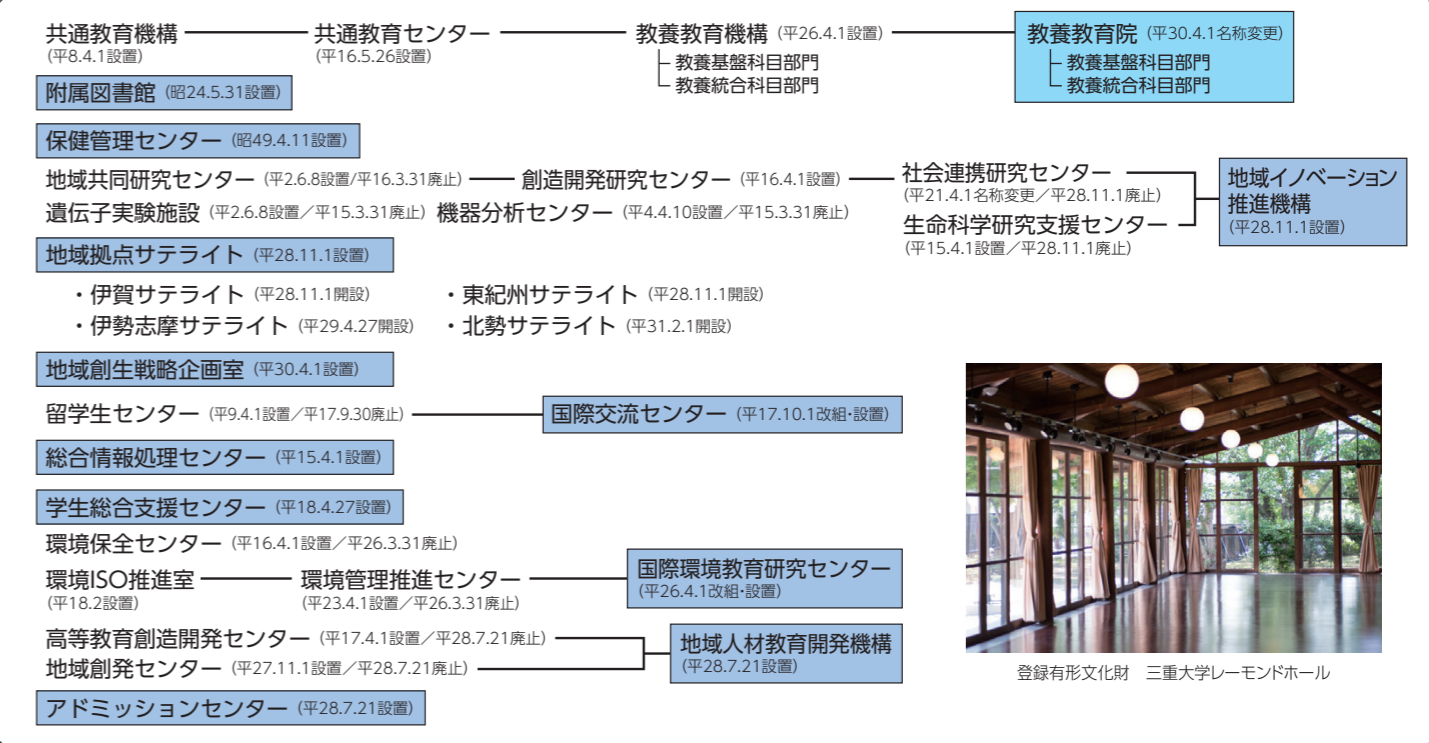


登録有形文化財 三重大学三翠会館

1912  
大正元年



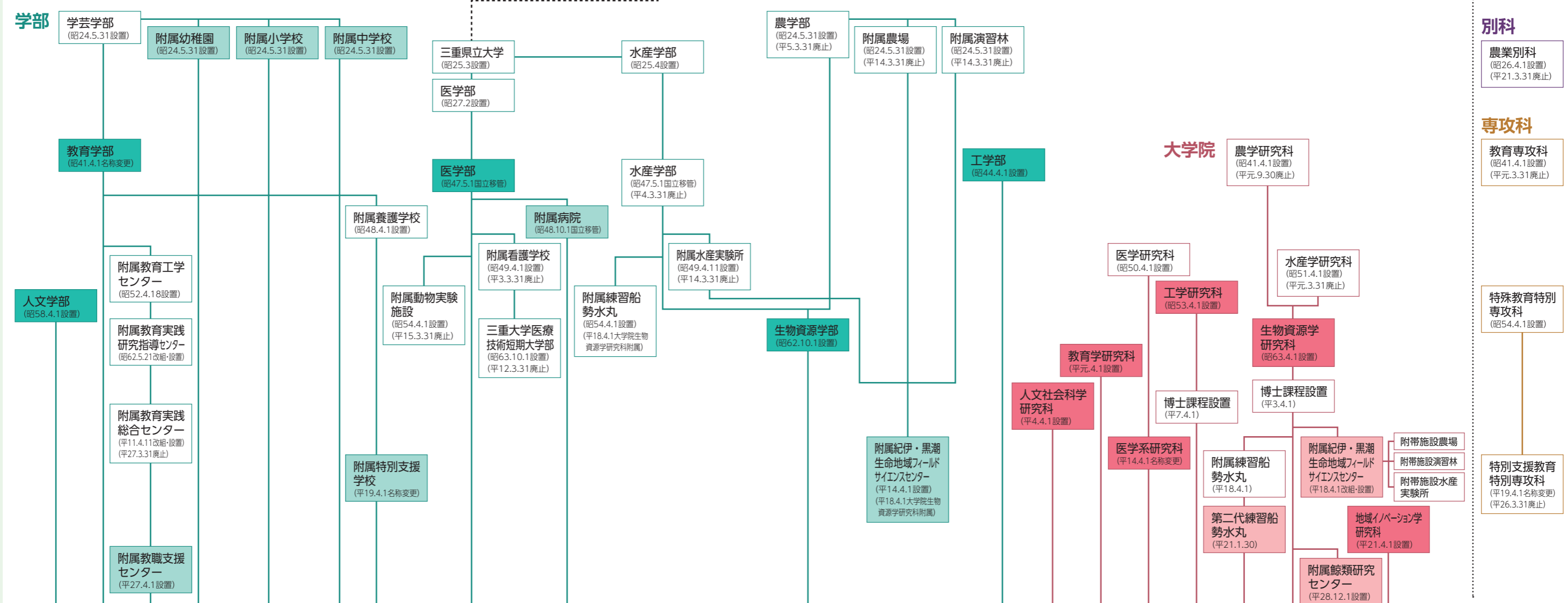
1945  
昭和20年



登録有形文化財 三重大学レーモンドホール

## 三重大学 (昭和24年5月31日)

国立大学法人移行 (1964)





# 役職員

令和2年度

## 役員等

学長	駒田 美弘
理事(教育担当)・副学長	山本 俊彦
理事(研究・社会連携担当)・副学長	緒方 正人
理事(総務・財務・基金・企画・評価担当)・副学長	尾西 康充
理事(情報・国際・環境担当)・副学長	梅川 逸人
理事(産学連携担当)・副学長 / 非常勤	伊藤 公昭
理事(法務担当)・副学長 / 非常勤	楠井 嘉行
監事(業務監査)	服部 正興
監事(会計監査) / 非常勤	山中 利之
副学長(経営担当)	大高 弘士
副学長(教育担当)	雷樫 健二
副学長(学生総合支援・インターンシップ担当)	野崎 哲哉
副学長(研究担当)	橋本 篤
副学長(社会連携担当)	西村 訓弘
副学長(産学連携担当)	今西 誠之
副学長(地域創生担当)	松田 裕子
副学長(国際交流担当)	吉松 隆夫
副学長(広報担当)	吉本 敏子
副学長(危機管理担当)	冨本 秀和
副学長(附属病院担当)	伊佐地秀司

## 学長補佐

学長補佐(教務担当)	苅田 修一
学長補佐(インターンシップ担当)	川中 普晴
学長補佐(入試担当)	飯田 和生
学長補佐(研究担当)	北川 敏一
学長補佐(国際交流担当)	金子 聡
学長補佐(情報担当)	山守 一徳

## 学長顧問

学長顧問	内田 淳正
学長顧問	珠玖 洋
学長顧問	鶴岡 信治

## 学長アドバイザー

学長アドバイザー	日高 弘義
学長アドバイザー	村田 吉優

## 経営協議会委員

(学内委員)	
学長	駒田 美弘
理事(教育担当)・副学長	山本 俊彦
理事(研究・社会連携担当)・副学長	緒方 正人
理事(総務・財務・基金・企画・評価担当)・副学長	尾西 康充
理事(情報・国際・環境担当)・副学長	梅川 逸人
理事(産学連携担当)・副学長 / 非常勤	伊藤 公昭
理事(法務担当)・副学長 / 非常勤	楠井 嘉行
医学部附属病院長	伊佐地秀司
事務局長	大高 弘士
(学外委員)	
三重県立学校長会 会長	加藤 幸弘
三重テレビ放送株式会社 相談役	志田 行弘
三重県知事	鈴木 英敬
東京国立博物館 館長	銭谷 眞美
学校法人鈴鹿医療科学大学 理事長	高木 純一
株式会社光機械製作所 代表取締役社長	西岡 慶子
公益社団法人三重県医師会 会長	松本 純一
ICDAホールディングス株式会社 代表取締役社長	向井 弘光
公立大学法人三重県立看護大学 名誉教授	村本 淳子
株式会社百五銀行 顧問	渡辺 義彦

## 教育研究評議会評議員

学長	駒田 美弘
理事(教育担当)・副学長	山本 俊彦
理事(研究・社会連携担当)・副学長	緒方 正人
理事(総務・財務・基金・企画・評価担当)・副学長	尾西 康充
理事(情報・国際・環境担当)・副学長	梅川 逸人
理事(産学連携担当)・副学長 / 非常勤	伊藤 公昭
理事(法務担当)・副学長 / 非常勤	楠井 嘉行
副学長(経営担当)・事務局長	大高 弘士
副学長(教育担当)	雷樫 健二
副学長(学生総合支援・インターンシップ担当)	野崎 哲哉
副学長(研究担当)	橋本 篤
副学長(社会連携担当)	西村 訓弘
副学長(産学連携担当)	今西 誠之
副学長(地域創生担当)	松田 裕子
副学長(国際交流担当)	吉松 隆夫
副学長(広報担当)	吉本 敏子
副学長(危機管理担当)	冨本 秀和
副学長(附属病院担当)・医学部附属病院長	伊佐地秀司
教養教育院長	大野 研
人文学部長	藤田 伸也
教育学部長	鶴原 清志
医学系研究科長	湊藤 啓広
工学研究科長	池浦 良淳
生物資源学研究科長	奥村 克純
地域イノベーション学研究科長	三宅 秀人
人文学部教授	樹神 成
教育学部教授	藤田 達生
医学系研究科教授	村田真理子
工学研究科教授	森 香津夫
生物資源学研究科教授	吉岡 基

## 事務局

事務局長	大高 弘士
監査課長	粟生 泰幸
企画総務部長	中湖 博則
総務課長	草川 雅彦
企画戦略課長	鷹野 雅一
人事労務課長	笹岡 修一
財務部長	田中 賢一
財務課長	櫻井 勝英
経理課長	伊藤 玲子
契約課長	坂井 崇
学務部長	草川 弥生
教務課長	山内 敏博
学生支援課長	河村 俊男
就職支援課長	富島 嘉夫
入試課長	福場 博文
地域人材教育開発機構課長	松原 行志
施設部長	東 貞男
施設企画課長	松井 宏文
施設管理課長	橋本 健
施設環境課長	鈴木 律文
学術情報部長	山下 郁夫
研究推進課長	大畑 歩
社会連携課長	石川 祐子
情報・図書館課長	米津 友子
国際交流課長	小田 尚美
地域創生推進課長	小林 泰久

## 教養教育院

院長	大野 研
副院長	綾野 誠紀
事務局長	坂井由加里

## 人文学部

学部長	藤田 伸也
副学部長	豊福 裕二
事務局長	喜井 健二

## 教育学部

学部長	鶴原 清志
副学部長	伊藤 信成
事務局長	森本 修一
附属教職支援センター長	山口 泰弘
附属幼稚園長	松本 昭彦
附属小学校長	松浦 均
附属中学校長	新田 貴士
附属特別支援学校長	秋元ひろと

## 大学院医学系研究科・医学部

研究科長(兼:学部長)	湊藤 啓広
副研究科長	島岡 要
副研究科長	野阪 哲哉

## 医学部附属病院

院長	伊佐地秀司
副病院長	平山 雅浩
副病院長	佐久間 肇
副病院長	近藤 峰生
副病院長	鈴木 秀謙
副病院長・看護部長	江藤 由美
副病院長	兼児 敏浩
副病院長	高尾 仁二
副病院長	堀 浩樹
病院長補佐	竹内 万彦
病院長補佐	丸山 一男
薬剤部長(事務取扱)	池田 智明
医学・病院管理部長	井澤 克弘
総務課長	伊藤 敦士
経営管理課長	伊藤 利宏
学務課長	加納 深雪
医事課長	土屋 有司

## 大学院工学研究科・工学部

研究科長(兼:学部長)	池浦 良淳
副研究科長	久保 雅敬
事務局長	小林 浩司

## 大学院生物資源学研究科・生物資源学部

研究科長(兼:学部長)	奥村 克純
副研究科長	酒井 俊典
副研究科長	神原 淳
事務局長	研屋 元弘
附属伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター長	松村 直人
附属練習船勢水丸船長	前川 陽一
附属鯨類研究センター長	吉岡 基

## 大学院地域イノベーション学研究科

研究科長	三宅 秀人
副研究科長	末原憲一郎
副研究科長	小林 一成

## 地域人材教育開発機構

機構長	山本 俊彦
-----	-------

## 地域イノベーション推進機構

機構長	緒方 正人
-----	-------

## 地域拠点サテライト

統括者	駒田 美弘
-----	-------

## 地域創生戦略企画室

室長	駒田 美弘
----	-------

## 附属図書館

館長	梅川 逸人
----	-------

## 保健管理センター

所長	冨本 秀和
----	-------

## 各センター長

国際交流センター長	吉松 隆夫
総合情報処理センター長	辻本 公一
学生総合支援センター長	野崎 哲哉
国際環境教育研究センター長	梅川 逸人
アドミッションセンター長	山本 俊彦

## 歴代学長

初代	岡出 幸生	昭24. 5.31~昭32. 5.31
事務取扱	中野 清作	昭32. 6. 1~昭32.12. 9
2代	野村 武衛	昭32.12.10~昭41.12. 9
事務取扱	角谷辰次郎	昭41.12.10~昭42. 2.28
3代	野田 稲吉	昭42. 3. 1~昭45. 2.28
事務取扱	井町 勇	昭45. 3. 1~昭45. 3.16
4代	野田 稲吉	昭45. 3.17~昭46.11. 8
事務取扱	岩本 喜一	昭46.11. 9~昭47. 6.30
事務取扱	榎原 慎吾	昭47. 7. 1~昭49. 2. 9
5代	三上 美樹	昭49. 2.10~昭55. 2. 9
6代	井澤 道	昭55. 2.10~昭61. 2. 9
7代	武田 進	昭61. 2.10~平 4. 2. 9
8代	武村 泰男	平 4. 2.10~平10. 2. 9
9代	矢谷 隆一	平10. 2.10~平16. 3.31
10代	豊田 長康	平16. 4. 1~平21. 3.31
11代	内田 淳正	平21. 4. 1~平27. 3.31
12代	駒田 美弘	平27. 4. 1~

## ◎ 教養教育院

三重大学では全学生が教養教育科目と専門教育科目を履修します。  
教養教育院は教養教育科目を提供します。教養教育科目は、全学生が履修する「共通カリキュラム」と各学部が指定する科目を履修する「目的別カリキュラム」から成ります。

「共通カリキュラム」は「自律的・能動的学修力の育成」と「グローバル化に対応できる人材の育成」を理念とし、全学生が教養基盤科目（アクティブ・ラーニング、外国語、異文化理解、健康科学）と教養統合科目（地域理解・日本理解、国際理解・現代社会理解、現代科学理解）の中から定められた単位を履修します。

「目的別カリキュラム」として基礎教育やキャリア教育の科目も履修できます。

部 門
教養基盤科目、教養統合科目



## ◎ 人文学部・大学院人文社会科学研究科

人文・社会科学の教育及び研究を通じて、地域文化の発展に寄与するとともに、人間と社会の在り方を根底から探究し、問題の解決に主体的に取り組む人材を育成します。



人文学部（2学科・4講座／2コース）		
	学 科	講座／コース
学 部	文化	日本研究講座、アジア・オセアニア研究講座、ヨーロッパ・地中海研究講座、アメリカ研究講座
	法律経済	法政コース（統治システム履修プログラム・生活法システム履修プログラム）、現代経済コース（企業経営履修プログラム・地域経済履修プログラム）
大学院人文社会科学研究科（2専攻）		
	専 攻	
修士課程	地域文化論	
	社会科学	

## ◎ 教育学部・大学院教育学研究科

多様な分野からなる総合的な学部としての特長を生かし、人文・社会・自然科学を基礎とした発達や教育に関する深い専門性と職業人として十分な資質を備えた人材を育成します。



教育学部（1課程・13コース）		
	課 程	コ ー ス
学 部	学校教育教員養成	国語教育、社会科教育、数学教育・情報教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術・ものづくり教育、家政教育、英語教育、特別支援教育、幼児教育、学校教育
大学院教育学研究科（2専攻・5教育領域／2コース）		
	専 攻	教育領域／コース
修士課程	教育学	学校教育領域、特別支援教育領域、人文・社会系教育領域、理数・生活系教育領域、芸術・スポーツ系教育領域
専門職学位課程	教職実践高度化	学校経営力開発コース、教育実践力開発コース

附属教育研究施設	
名 称	設置目的及び研究部門等
教育学部附属教職支援センター	教員養成教育及び教師教育についての支援業務及び調査・研究の成果に基づく指導（教員養成支援部門、学校連携支援部門、研修開発支援部門、総合支援室）を行います。

## ◎ 大学院医学系研究科・医学部

確固たる使命感と倫理観をもつ医療人を育成し、豊かな創造力と研究能力を養い、人類の健康と福祉の向上につとめ、地域および国際社会に貢献します。



大学院医学系研究科			
	専 攻	講 座	教育研究分野
博士課程・修士課程	生命医科学（博士課程）	基礎医学系	組織学・細胞生物学、発生再生医学、生化学、幹細胞発生学、分子生理学、修復再生病理学、腫瘍病理学、統合薬理学、分子病態学、感染症制御医学・分子遺伝学、免疫学、医動物・感染医学、環境分子医学、公衆衛生・産業医学、法医学科学、医学医療教育学、免疫制御学、動物機能ゲノミクス、遺伝子病態制御学
		臨床医学系	循環器・腎臓内科学、血液・腫瘍内科学、消化器内科学、呼吸器内科学、代謝内分泌内科学、神経病態内科学、リウマチ膠原病内科学、家庭医療学、精神神経科学、小児科学、皮膚科学、放射線医学、肝胆膵・移植外科学、消化管・小児外科学、胸部心臓血管外科学、乳腺外科学、産科婦人科学、脳神経外科学、運動器外科学・腫瘍集学治療学、腎泌尿器外科学、眼科学、耳鼻咽喉・頭頸部外科学、口腔・顎顔面外科学、形成外科学、麻酔集中治療学、臨床麻酔科学、救急災害医学、リハビリテーション医学、病態解析内科学、新生児学、成育医学、健康増進・予防医療学
		(産学官連携講座) 臨床創薬研究学	臨床創薬学
	医科学（修士課程）	(産学官連携講座) システムズ薬理学	システムズ薬理学
		(産学官連携講座) 個別化がん免疫治療学	個別化がん免疫治療学
		(寄附講座) 認知症医療学	認知症医療学
		(寄附講座) 先進医療外科学	先端的外科技術開発学
		(寄附講座) スポーツ整形外科学	スポーツ整形外科学
		(寄附講座) 先進画像診断学	先進画像診断学
		(寄附講座) 先進がん治療学	先進がん治療学
	(多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン) 放射線腫瘍学	放射線腫瘍学	
	専 攻	領 域	教育研究分野
博士前期課程	看護学	基盤看護学	看護教育学、看護管理学、実践基礎看護学
		実践看護学	がん看護学、成人看護学、母性看護・助産学、小児看護学、老年看護学
		広域看護学	精神看護学、地域看護学
博士後期課程	看護学	看護教育学、実践基礎看護学、成熟期看護学、母子看護学、精神・ストレス健康科学、地域看護学	
医学部 2学科			
	学 科		
学部	医学科		
	看護学科		



## ○ 大学院工学研究科・工学部

工学の専門分野を教授することを通じて、知的理解力・倫理的判断力・応用的活用力を備えた人材を育成するとともに、科学技術の研究を通じて、自然の中での人類の共生、福祉の増進、および社会の発展に貢献することを目指します。



大学院工学研究科（8専攻・20講座）			
	専攻	講座	
博士 前期課程	機械工学	量子・電子機械、機能加工、環境エネルギー	
	電気電子工学	電気システム工学、情報・通信システム工学、電子物性工学	
	分子素材工学	分子設計化学、生物機能工学、素材化学	
	建築学	建築デザイン、建築マネジメント	
	情報工学	コンピュータサイエンス、知能工学	
博士 後期課程	物理学	量子工学、ナノ工学	
	材料科学、システム工学	材料物性、材料化学、電気情報システム、設計システム、循環システム設計	
工学部（1学科・5コース・17講座）			
	学科	コース	講座
学部	総合工学	機械工学	ロボティクス・メカトロニクス、機能創成プロセス、機械物理学、環境エネルギー
		電気電子工学	電気システム工学、情報・通信システム工学、電子物性工学、物理学
		応用化学	物理化学、無機分析化学、有機化学、生命化学
		建築学	建築学
		情報工学	コンピュータサイエンス、情報ネットワーク工学、知能システム工学、人間情報学

## ○ 大学院生物資源学研究科・生物資源学部

自然と人類の共存を図り、生物資源の適切な開発と利用を追求する学問を確立し、その基礎的、応用的な科学技術を教授・研究することによって、独創性と専門性を兼ね備えた人材養成を目指します。



大学院生物資源学研究科（前期課程：3専攻・9講座、後期課程：3専攻・6講座）		
	専攻	講座
博士 前期課程	資源循環学	農業生物学、森林資源環境学、国際・地域資源学
	共生環境学	地球環境学、環境情報システム工学、農業土木学
	生物圏生命科学	生命機能化学、海洋生命分子化学、海洋生物学
博士 後期課程	資源循環学	資源循環システム科学、国際資源循環科学
	共生環境学	気象・地球システム学、環境・生産科学
	生物圏生命科学	応用生命化学、海洋生物科学
生物資源学部（4学科・9コース）		
	学 科	コ ー ス
学 部	資源循環学	農業生物学教育コース、森林資源環境学教育コース、グローバル資源利用学教育コース
	共生環境学	地球環境学教育コース、環境情報システム学教育コース、農業土木学教育コース
	生物圏生命科学	生命機能化学教育コース、海洋生命分子化学教育コース
	海洋生物資源学	海洋生物資源学教育コース

附属教育研究施設	
名 称	設置目的及び研究部門等
生物資源学研究科 附属紀伊・黒潮生命地域 フィールドサイエンスセンター	紀伊半島全域と黒潮流域に広がる山から海までの生態系を対象に、人間と自然との共存を目指す総合科学の実習教育・研究施設
附帯施設農場	農地生産業務、果樹園芸業務、施設栽培業務、農産加工業務、機械・圃場管理業務、畜産管理業務、教育学部技術教育コースからなる農学及び地域環境の実習教育・研究施設
附帯施設演習林	森林資源学並びに森林・地域環境保全の実習教育・研究施設
附帯施設水産実験所	水産科学、海洋生物学並びに海洋環境保全の実習教育・研究施設
生物資源学研究科 附属練習船勢水丸	水産学・海洋生物学・海洋環境学に関する実習並びに研究調査
生物資源学研究科 附属鯨類研究センター	海洋生物資源としての鯨類の持続的利用に関する基礎から応用にいたる研究を推進するための研究施設
地域イノベーション学研究科コアラボ	高度専門職業人の育成及び大学の研究成果を社会に還元することを目的として、産学官連携による共同研究を実施する施設

## ○ 大学院地域イノベーション学研究科

現代の産業社会、特に三重地域圏などの地方産業界で生じている社会ニーズと大学院における教育の乖離を打破し、地方の衰退を食い止められる人材を養成するために「地域イノベーション学研究科」を設置し、「プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材」および「地域にゼロから1を創造できるソーシャル・アントレプレナー人材」を育成し、地域社会に輩出します。



大学院地域イノベーション学研究科（2専攻・4ユニット）		
	専攻	講座
博士 前期課程	地域イノベーション学	工学イノベーションユニット、バイオイノベーションユニット、社会イノベーションユニット
博士 後期課程	地域イノベーション学	地域新創造ユニット

## ○ 地域人材教育開発機構

各部署との連携・協議を通して、三重大学の教育目標の達成に向けた教育諸活動の創造・開発を推進するとともに、地方創生に資する地域人材育成の学位プログラム・教育の質保証に向けた取組みを支援することを目的とします。

## ○ 地域イノベーション推進機構

地域イノベーションの推進に向けて、三重大学が戦略的に展開する研究活動を支援・推進するとともに、三重大学の教育研究資源を活用した成果の社会還元と、地域の発展に寄与する人材育成活動への支援を目的とします。

## ○ 地域拠点サテライト

平成28年度から順次設置している「地域拠点サテライト」では、県内全域を三重大学の教育研究フィールドと位置付け、多様な地域特性を有する4つの地域サテライト（伊賀サテライト、東紀州サテライト、伊勢志摩サテライト、北勢サテライト）を展開しています。各地域サテライトにおいては、自治体・教育機関等との連携および協力をもとに、特色豊かな活動拠点が置かれ、教員や学生がフィールドワーク等の実践的な教育研究活動を行っています。また、これら4つの地域サテライトが地元企業や自治体と大学を繋ぐハブ機能としての役割を担うことで、地域課題の発見・共有、共同研究・共同プロジェクト等を通じた課題解決等に全学的に取り組みながら、三重大学の教育研究力の向上に加え、地域創生や地域の人材育成に貢献しています。

## ○ 地域創生戦略企画室

地域貢献型大学を掲げる三重大学の重要な使命である教育力・研究力の強化と深化を図るとともに、教育研究成果を積極的に社会に還元し、地域創生に寄与することを目的とします。学長の強いリーダーシップの下、本学が地域の企業や自治体等との組織対組織による戦略的なプロジェクト（地域創生プロジェクト）を企画・展開することで、本学における教育・研究の深化に寄与します。さらに、この地域創生プロジェクトに学内の教職員・学生、あるいは地域の企業や行政職員が参画することで、地域共創を牽引する基幹人材の育成を目指します。

## ○ 附属図書館

研究支援機能、学習支援機能、地域貢献機能を3本柱とする附属図書館は、隣接する環境・情報科学館とともに、知を獲得・創出し、共有する場となります。

## ○ 保健管理センター

教職員及び学生の健康の保持増進を図るための専門的業務を行うところで、医師・保健師・看護師等が“こころ”と“からだ”両面の相談に応じています。また、定期的な健康診断も行っています。

## ○ 学内共同教育研究施設

名 称	設置目的及び研究部門等
国際交流センター	国際交流事業及び国際教育を通じて国際的な課題の解決に貢献できる人材を養成し、三重大学及び地域の国際化に寄与することを目的として設置され、海外大学との学術交流協定の締結、学生の海外留学、語学研修、留学生への日本語教育、インターンシップ、就職支援、日本人学生への国際教育、部局の国際活動の支援等を行っています。
総合情報処理センター	教育システム、各種サーバーから、インターネットに接続されたキャンパスネットワークまでの多種多様な機器を管理運用することで教育、研究の支援を行います。またネットワークセキュリティの基礎を提供します。
学生総合支援センター	充実した学生生活の実現を図るため、学生の修学、就職及び生活等への支援を行います。
国際環境教育研究センター	上浜キャンパス（附属病院を除く）において、学生を中心とした環境マネジメントシステム（EMS）が国際標準規格（ISO14001:2015）に適合していることが確認され、令和元年11月19日、「ISO14001」を継続認証しました（初期登録平成19年11月）。現在は環境マネジメントシステムの継続的改善を図るとともに、「世界に誇れる環境先進大学」として環境教育・環境研究を推進し、大学の社会的責任（USR）を果たす活動を行っています。また、教育研究活動に伴い排出される廃水、廃棄物、大気汚染物質等の適切な管理運営を行い、公害を防止し、環境の安全確保を図ります。
アドミッションセンター	三重大学が定める基本方針に基づき、高校教育及び大学教育の連続性と一貫性に立つ高大接続を推進するとともに、多面的かつ総合的な評価で構成する入学選抜方法の開発と実現を通じ、地域に貢献する人材の育成に寄与することを目的とします。

# 資料編

## 推進室

名称	設置目的及び研究部門等
博学連携推進室	博物館等との組織的な協力及び連携事業を推進することにより、地域における教育・研究のネットワークを発展させます。
男女共同参画推進室	本学では、平成20年7月に「三重大学男女共同参画宣言」を行い、学長を委員長とする男女共同参画推進委員会の下、同専門委員会及び学生委員会と共に、女性活躍推進、ワーク・ライフ・バランス及び次世代育成支援対策等に配慮した働きやすい職場環境づくりに取り組んでおり、本年5月には「子育てサポート企業」として、厚生労働省の認定（くるみん認定）も受けました。男女共同参画推進室は、教養教育における授業「男女共同参画基礎」の開講や、教員が出産・子育て又は介護等と研究の両立ができるよう支援する「研究補助者雇用経費助成事業」の実施、三重県等と連携した意識啓発事業、イクボス宣言等、各種事業の実施で貢献します。

## その他の施設

名称	設置目的及び研究部門等
環境・情報科学館 (Mie Environmental & Informational Platform : MEIPL)	附属図書館と一体化したアカデミックコモンズ※の一角であり、「世界に誇れる環境先進大学」を目指す本学が行う、低炭素社会の構築・形成過程を発信する中心施設です。1階は環境教育や研究・地域コミュニティとの交流スペース、2階は全面がラーニングコモンズ、3階は、廊下側の壁がないオープン・スクール形式の教室（PBL演習室）として機能しています。 ※アカデミックコモンズ…ヒトやモノを含むさまざまな情報資源と交流・協働することによって、知を生み出したり、その知を共有したりする場。
数理・データサイエンス館 (CeMDS)	必携ノートパソコンなどのICT（情報通信技術）機器の利活用・教育学習支援による数理・データサイエンス（DS）人材育成を行い、データサイエンス教育・人材育成による地域社会の情報技術発展への貢献を目的とします。

## 三重大学リサーチセンター

### 卓越型リサーチセンター

令和2年4月1日現在

番号	センターの名称	代表者名
1	三重大学次世代型電池開発センター	工学研究科 教授 今西 誠之
2	三重大学人間共生ロボティクス・メカトロニクスリサーチセンター	工学研究科 教授 池浦 良淳
3	三重大学特異構造の結晶科学リサーチセンター	地域イノベーション学研究科 教授 三宅 秀人
4	三重大学次世代型VLPワクチン研究開発センター	医学系研究科 教授 野阪 哲哉
5	三重大学次世代創薬ゼブラフィッシュスクリーニングセンター	医学系研究科 講師 島田 康人
6	三重大学コーディネーター有種基盤創生リサーチセンター	生物資源学研究科 准教授 諏訪部圭太

### 若手リサーチセンター

令和2年4月1日現在

番号	センターの名称	代表者名
1	三重大学モーションコントロールリサーチセンター	工学研究科 助教 矢代 大祐
2	三重大学新たな需要を喚起する循環型農業リサーチセンター	生物資源学研究科 講師 坂井 勝

### リサーチセンター

令和2年4月1日現在

番号	センターの名称	代表者名
1	三重大学環境エネルギー工学研究センター	工学研究科 教授 廣田 真史
2	三重大学地域ECOシステム研究センター	地域イノベーション学研究科 教授 矢野 竹男
3	三重大学メディカルゼブラフィッシュ研究センター	医学系研究科 教授 丸山 一男
4	三重大学脳解析センター	医学系研究科 教授 成田 正明
5	三重大学マトリックスバイオロジー研究センター	医学系研究科 准教授 今中 恭子
6	三重大学ソフトマターの化学リサーチセンター	工学研究科 教授 鳥飼 直也
7	三重大学次世代ICTリサーチセンター	工学研究科 教授 成瀬 央
8	三重大学バイオエンジニアリング国際教育研究センター	医学系研究科 教授 島岡 要
9	三重大学環境低負荷プロセスリサーチセンター	工学研究科 教授 金子 聡
10	三重大学複合的がん免疫療法センター	医学系研究科 准教授 宮原 慶裕
11	三重大学難病研究センター	医学系研究科 教授 ガバザ エステバン
12	三重大学海藻バイオリファイナリー研究センター	生物資源学研究科 准教授 柴田 敏行
13	三重大学先天性心疾患・川崎病センター	附属病院 准教授 三谷 義英
14	三重大学スマートセルイノベーション研究センター	生物資源学研究科 教授 田丸 浩
15	三重大学初等教育におけるドローンの教育利用研究センター	教育学部 教授 萩原 彰
16	三重大学先端医科学グローバルリサーチセンター	医学系研究科 教授 稲垣 昌樹

## 職員数

令和2年5月1日現在

区 分	学長	理事	監事	大学教員				小計	附属学校教員	その他職員	小計	合計
				教授	准教授	講師	助教					
学長・理事・監事	1(0)	6(0)	2(0)					9(0)			0(0)	9(0)
事務局等				1(1)				1(1)		183(64)	183(64)	184(65)
教養教育院				9(2)	6(3)	2(0)	1(1)	18(6)		8(3)	8(3)	26(9)
地域人材教育開発機構				1(1)	3(2)	3(1)	2(1)	9(5)			0(0)	9(5)
地域イノベーション推進機構				2(0)	6(0)		7(1)	15(1)		5(3)	5(3)	20(4)
地域拠点サテライト					1(0)			1(0)			0(0)	1(0)
地域創生戦略企画室				2(0)	1(0)	1(1)	5(2)	9(3)		1(0)	1(0)	10(3)
国際交流センター					1(1)			1(1)			0(0)	1(1)
総合情報処理センター					1(0)		2(0)	3(0)		2(1)	2(1)	5(1)
学生総合支援センター							2(0)	2(0)			0(0)	2(0)
国際環境教育研究センター							1(0)	1(0)			0(0)	1(0)
保健管理センター				2(0)		1(1)		3(1)		2(2)	2(2)	5(3)
人文学部				36(11)	22(4)	1(0)	2(2)	61(17)		9(4)	9(4)	70(21)
大学院教育学研究科				3(0)	3(1)			6(1)			0(0)	6(1)
教育学部				42(6)	17(6)	4(1)		63(13)		10(7)	10(7)	73(20)
附属幼稚園								0(0)	7(6)		7(6)	7(6)
附属小学校								0(0)	26(8)	5(4)	31(12)	31(12)
附属中学校								0(0)	27(8)		27(8)	27(8)
附属特別支援学校								0(0)	29(14)		29(14)	29(14)
大学院医学系研究科				42(10)	32(10)	14(1)	51(21)	139(42)		7(4)	7(4)	146(46)
医学部				1(1)		1(1)	10(3)	12(5)			0(0)	12(5)
附属病院				8(2)	20(0)	40(3)	130(34)	198(39)		834(661)	834(661)	1,032(700)
大学院工学研究科				34(0)	39(1)	2(0)	19(1)	94(2)		27(9)	27(9)	121(11)
大学院生物資源学研究科				42(2)	36(3)	2(1)	11(2)	91(8)		9(6)	9(6)	100(14)
附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター								0(0)		19(5)	19(5)	19(5)
附帯施設農場				2(0)	1(0)			3(0)			0(0)	3(0)
附帯施設演習林					1(0)		1(0)	2(0)			0(0)	2(0)
附帯施設水産実験所				1(0)				1(0)			0(0)	1(0)
附属鯨類研究センター				3(0)	3(0)		1(1)	7(1)			0(0)	7(1)
附属練習船勢水丸					1(0)		1(0)	2(0)		14(1)	14(1)	16(1)
大学院地域イノベーション学研究科				6(0)	1(0)		2(2)	9(2)			0(0)	9(2)
総 計	1(0)	6(0)	2(0)	237(36)	195(31)	73(10)	246(71)	760(148)	89(36)	1,135(774)	1,224(810)	1,984(958)

\*理事のうち2名は非常勤職員。 \*監事のうち1名は非常勤職員。 \*休職者及び育児休業者を含まず、任期付職員（代替職員）を含む。  
\*（ ）内は女性数を内数で示す。 \*附属学校教員には特別教員を含む。

## 寄附講座・産学官連携講座（医学系研究科・医学部）

令和2年5月1日現在

講 座	区 分	大学教員				小計	非常勤教員	合計
		教授	准教授	講師	助教			
認知症医療学講座	寄附講座				1(1)	1(1)		1(1)
先進医療外科学講座	寄附講座				1(0)	1(0)	1(0)	2(0)
スポーツ整形外科学講座	寄附講座			1(0)		1(0)		1(0)
亀山地域医療学講座	寄附講座	1(0)			2(0)	3(0)		3(0)
名張地域医療学講座	寄附講座			1(0)	1(0)	2(0)		2(0)
三重県総合診療地域医療学講座	寄附講座				3(0)	3(0)		3(0)
神経・筋病態学講座	寄附講座	1(0)				1(0)		1(0)
先進画像診断学講座	寄附講座	1(0)				1(0)		1(0)
周産期新生児発達医学講座	寄附講座	1(0)				1(0)		1(0)
先進がん治療学講座	寄附講座	1(0)				1(0)		1(0)
脊髄末梢神経低侵襲外科学講座	寄附講座	1(0)				1(0)		1(0)
循環器・救命救急地域連携学講座	寄附講座			1(0)		1(0)		1(0)
脊椎集学治療講座	寄附講座				1(0)	1(0)		1(0)
地域血液内科講座	寄附講座		1(1)			1(1)		1(1)
地域支援神経放射線診断学講座	寄附講座	1(0)				1(0)		1(0)
個別化がん免疫治療学講座	産学官連携講座	2(0)	1(0)			3(0)	1(0)	4(0)
臨床創薬研究学講座	産学官連携講座				1(0)	1(0)		1(0)
システムズ薬理学講座	産学官連携講座					0(0)	1(0)	1(0)
合 計		9(0)	2(1)	3(0)	10(1)	24(2)	3(0)	27(2)

\*（ ）内は女性数を内数で示す。

## 寄附研究部門（医学部附属病院）

令和2年5月1日現在

研究部門	区 分	大学教員				小計	非常勤教員	合計
		教授	准教授	講師	助教			
地域連携学寄附研究部門	寄附研究部門	1(0)		2(0)	1(1)	4(1)		4(1)
東紀州地域医療学寄附研究部門	寄附研究部門				1(0)	1(0)		1(0)
外科専門医育成支援寄附研究部門	寄附研究部門				1(0)	1(0)		1(0)
合 計		1(0)	0(0)	2(0)	3(1)	6(1)	0(0)	6(1)

\*（ ）内は女性数を内数で示す。



# 資料編

## 学生定員及び現員 ( ) 内は、外国人留学生数を内数で示す。

令和2年5月1日現在

区分	1年次				2年次				3年次				
	定員	男	女	計	定員	男	女	計	定員	男	女	計	
人文学部	文化学科	92	38(2)	57(0)	95(2)	92	32(2)	64(1)	96(3)	102	31(3)	72(1)	103(4)
	法律経済学科	153	96(1)	68(0)	164(1)	153	99(0)	65(0)	164(0)	173	88(1)	95(0)	183(1)
計													
教育学部	学校教育教員養成課程	200	74(0)	131(0)	205(0)	200	78(0)	128(0)	206(0)	200	87(0)	120(0)	207(0)
	人間発達科学課程												
計													
医学部	医学科	125	82(0)	43(0)	125(0)	125	81(0)	46(0)	127(0)	125	94(0)	36(0)	130(0)
	看護学科	80	4(0)	76(0)	80(0)	80	6(0)	77(0)	83(0)	90	4(0)	76(0)	80(0)
計													
工学部	機械工学科									90	87(2)	5(1)	92(3)
	電気電子工学科									90	88(1)	2(0)	90(1)
	分子素材工学科									100	73(1)	25(0)	98(1)
	建築学科									50	41(1)	13(0)	54(1)
	情報工学科									60	56(1)	2(0)	58(1)
	物理工学科									40	34(1)	4(0)	38(1)
	総合工学科	400	346(1)	58(0)	404(1)	400	342(1)	61(0)	403(1)				
計													
生物資源学部	資源循環学科	70	37(0)	35(0)	72(0)	70	44(0)	29(0)	73(0)	73	41(0)	31(0)	72(0)
	共生環境学科	70	50(0)	23(0)	73(0)	70	56(0)	21(0)	77(0)	73	56(0)	17(0)	73(0)
	生物圏生命科学科												
	生物圏生命化学科	80	32(0)	49(1)	81(1)	80	34(0)	50(0)	84(0)	82	39(0)	44(0)	83(0)
大学院	工学研究科	216	184(3)	23(1)	207(4)	216	199(3)	28(4)	227(7)				
	生物資源学	88	44(7)	21(1)	65(8)	88	62(4)	19(3)	81(7)				
	地域イノベーション学	15	7(1)	3(0)	10(1)	15	15(1)	4(1)	19(2)				
学部合計													

4年次				5年次				6年次				合計			
定員	男	女	計	定員	男	女	計	定員	男	女	計	定員	男	女	計
102	51(2)	81(1)	132(3)									388	152(9)	36%	274(3)
173	122(1)	98(1)	220(2)									652	405(3)	55%	326(1)
275	173(3)	179(2)	352(5)									1,040	557(12)	48%	600(4)
200	88(1)	127(0)	215(1)									800	327(1)	39%	506(0)
200	1(1)	2(1)	3(2)									800	328(2)	39%	508(1)
125	95(0)	41(0)	136(0)	125	69(0)	45(0)	114(0)	125	96(0)	33(0)	129(0)	750	517(0)	68%	244(0)
90	4(0)	83(0)	87(0)									340	18(0)	5%	312(0)
215	99(0)	124(0)	223(0)	125	69(0)	45(0)	114(0)	125	96(0)	33(0)	129(0)	1,090	535(0)	49%	556(0)
90	109(3)	4(1)	113(4)									180	196(5)	96%	9(2)
90	108(3)	6(0)	114(3)									180	196(4)	96%	8(0)
100	80(0)	28(0)	108(0)									200	153(1)	74%	53(0)
50	42(1)	14(0)	56(1)									100	83(2)	75%	27(0)
60	79(0)	4(0)	83(0)									120	135(1)	96%	6(0)
40	45(0)	8(0)	53(0)									80	79(1)	87%	12(0)
												800	688(2)	85%	119(0)
430	463(7)	64(1)	527(8)									1,660	1,530(16)	87%	234(2)
73	41(0)	39(0)	80(0)									286	163(0)	55%	134(0)
73	64(0)	25(0)	89(0)									286	226(0)	72%	86(0)
	4(0)	4(0)	8(0)										4(0)	50%	4(0)
82	28(0)	54(0)	82(0)									324	133(0)	40%	197(1)
42	28(0)	12(0)	40(0)									164	114(0)	69%	51(0)
270	165(0)	134(0)	299(0)									1,060	640(0)	58%	472(1)
1,390	989(12)	630(4)	1,619(16)	125	69(0)	45(0)	114(0)	125	96(0)	33(0)	129(0)	5,650	3,590(30)	60%	2,370(8)

大学院	研究科	課程	在籍者数											
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	合計				
大学院	人文社会科学研究科	修士課程	15	8(5)	7(4)	15(9)	15	10(3)	10(2)		20(5)			
		専門職学位課程	27	7(1)	11(2)	18(3)	27	20(2)	9(1)	29(3)				
		修士課程(医科)	14	14(0)	3(0)	17(0)	14	6(0)	6(0)	12(0)				
	医学系研究科	修士課程(看護)	12	3(0)	2(0)	5(0)	12	6(1)	6(1)	12(2)				
		博士前期課程(看護)	11	1(0)	13(1)	14(1)	11	2(0)	10(0)	12(0)				
		博士後期課程(看護)	3	1(0)	3(0)	4(0)	3		3(1)	3(1)	3		10(0)	
		博士課程(生命医科)	45	35(1)	14(4)	49(5)	45	40(5)	12(0)	52(5)	45	21(4)	16(2)	
	工学研究科	博士前期課程	216	184(3)	23(1)	207(4)	216	199(3)	28(4)	227(7)				
		博士後期課程	16	8(2)	5(2)	13(4)	16	8(1)	1(0)	9(1)	16	15(3)	6(2)	
	生物資源学	博士前期課程	88	44(7)	21(1)	65(8)	88	62(4)	19(3)	81(7)				
		博士後期課程	12	8(2)	4(2)	12(4)	12	3(1)	2(1)	5(2)	12	10(3)	10(5)	
	地域イノベーション学	博士前期課程	15	7(1)	3(0)	10(1)	15	15(1)	4(1)	19(2)				
博士後期課程		6	7(0)	1(0)	8(0)	6	5(0)	2(1)	7(1)	5	8(2)	2(0)		
大学院合計			480	327(22)	110(17)	437(39)	480	376(21)	113(15)	489(36)	81	54(12)	44(9)	98(21)
総計			1,790	1,115(26)	662(18)	1,777(44)	1,790	1,176(24)	667(16)	1,843(40)	1,471	902(23)	600(11)	1,502(34)

												30	18(8)	51%	17(6)	49%	35(14)												
												54	27(3)	57%	20(3)	43%	47(6)												
												28	20(0)	69%	9(0)	31%	29(0)												
												24	9(1)	53%	8(1)	47%	17(2)												
															1(0)	100%	1(0)												
												22	3(0)	12%	23(1)	88%	26(1)												
												9	1(0)	6%	16(1)	94%	17(1)												
												45	36(4)	24(4)	60(8)	67%	66(10)												
												432	383(6)	88%	51(5)	12%	434(11)												
												48	31(6)	72%	12(4)	28%	43(10)												
												176	106(11)	73%	40(4)	27%	146(15)												
												36	21(6)	57%	16(8)	43%	37(14)												
												30	22(2)	76%	7(1)	24%	29(3)												
												17	20(2)	80%	5(1)	20%	25(3)												
												45	36(4)	24(4)	60(8)														
												1,086	793(59)	73%	291(45)	27%	1,084(104)												
												1,435	1,025(16)	654(8)	1,679(24)	125	69(0)	45(0)	114(0)	125	96(0)	33(0)	129(0)	6,736	4,383(89)	62%	2,661(53)	38%	7,044(142)

## 教育学部附属学校の定員等

令和2年5月1日現在

区分	総定員	学級数	在籍者数							合計
			1年	2年	3年	4年	5年	6年		
附属幼稚園	140	5	(3歳児)	(4歳児)	(5歳児)					130
附属小学校	630	18	20	53	57					586
附属中学校	480	12	99	102	95	99	96	95		427
附属特別支援学校	小学部	18	3	3	3	3	2	1	1	13
	中学部	18	3	4	6	6				16
	高等部	24	3	8	8	8				24
計	1,310	44	278	312	312	101	97	96		1,196

## 奨学生数

令和元年度

学部等	区分	在学生数	日本学生支援機構			計	地方公共団体 民間育英団体	合計	在学生に対する 百分率	
			給付	第一種(無利子)	第二種(有利子)					
学部	人文学部	1,179	14	195	103	312	3	315	26.7%	
	教育学部	848	11	130	99	240	10	250	29.5%	
	医学部	1,094	8	119	130	257	324	581	53.1%	
	工学部	1,800	9	273	216	498	16	514	28.6%	
生物資源学部	1,107	10	153	113	276	6	282	25.5%		
大学院	人文社会科学研究科	33		3	1	4	0	4	12.1%	
	教育学研究科	修士	59		9	1	10	1	11	18.6%
		専門	29		1	0	1	0	1	3.4%
		修士	21		5	1	6	0	6	28.6%
	医学系研究科	前期	19		1	1	2	0	2	10.5%
		後期	13		0	0	0	0	0	0.0%
		博士	191		4	1	5			

## 令和2年度入学志願者数及び入学者数

令和2年4月1日現在

区分	定員	志願者数			受験者数			合格者数			入学者数			
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
学部	人文学部	245	(27)	(5)	(32)	(21)	(5)	(26)	(2)	(0)	(2)	(2)(*1)	(0)	(2)(*1)
	教育学部	200	(6)	(5)	(11)	(5)	(3)	(8)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)
	医学部	205	349	436	785	218	239	457	87	123	210	86	119	205
	工学部	400	(11)	(2)	(13)	(11)	(0)	(11)	(4)	(0)	(4)	(1)	(0)	(1)
	生物資源学部	260	(0)	(2)	(2)	(0)	(2)	(2)	(0)	(2)	(2)	(0)	(1)	(1)
	合計	1,310	(44)	(14)	(58)	(37)	(10)	(47)	(6)	(3)	(9)	(3)(*1)	(1)	(4)(*1)
大学院	人文社会科学研究科	15	(7)	(8)	(15)	(7)	(8)	(15)	(5)	(4)	(9)	(5)	(4)	(9)
	教育学研究科	教育科学専攻	27	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)
		教職実践高度化専攻	14	15	3	18	14	3	17	14	3	17	14	3
	医学系研究科	修士	12	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
		前期(看護)	11	(0)	(1)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(1)
		後期(看護)	3	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
		博士	45	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(0)	(2)
	工学研究科	前期	216	(3)	(0)	(3)	(2)	(0)	(2)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)
		後期	16	(2)	(1)	(3)	(1)	(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(1)	(2)
	生物資源学研究科	前期	88	(3)	(7)	(10)	(3)	(2)	(5)	(3)	(2)	(5)	(3)	(1)
		後期	12	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	地域イノベーション学研究科	前期	15	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)
		後期	6	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	合計	480	(18)	(21)	(39)	(16)	(16)	(32)	(13)	(12)	(25)	(12)	(11)	(23)

( ) 内は、外国人留学生を内数で示す。\*は、マレーシア政府派遣による入学者(学部学生)を含む。\*工学研究科博士課程5年一貫コースによる入学者1名含む

## 令和元年度卒業生数・修了者数・学位授与数

学部

( ) 内は、女子学生数を内数で示す。

学部名	学科名	卒業生数	
		令和元年度	累計
人文学部	文化学科	(79)	(5,250)
	法律経済学科	(88)	
	小計	(167)	
教育学部	学校教育教員養成課程	(127)	(10,625)
	人間発達科学課程	(3)	
	小計	(130)	
医学部	医学科	(40)	(2,547)
	看護学科	(73)	
	小計	(113)	
工学部	機械工学科	(10)	(1,432)
	電気電子工学科	(3)	
	分子素材工学科	(26)	
	建築学科	(20)	
	情報工学科	(6)	
	物理工学科	(1)	
	小計	(66)	
生物資源学部	資源循環学科	(38)	(3,056)
	共生環境学科	(24)	
	生物圏生命科学科	(46)	
	小計	(108)	
(旧農学部)		(22)	(6,978)
(旧水産学部)		(56)	(944)
①合計		(584)	(23,188)

大学院

( ) 内は、女子学生数を内数で示す。

研究科	課程	修了者数	
		令和元年度	累計
人文社会科学研究科	修士	(6)	(225)
		12	434
教育学研究科	修士	(10)	(503)
	専門職学位	(5)	(13)
医学系研究科	修士	(5)	(259)
	博士前期	(5)	(21)
	博士	(5)	(208)
	博士後期	(30)	1,332
工学研究科	博士前期	(18)	(431)
	博士後期	(3)	(35)
生物資源学研究科	博士前期	(18)	(722)
	博士後期	(5)	(83)
地域イノベーション学研究科	博士前期	(2)	(27)
	博士後期	(2)	(6)
工学研究科	修士	—	(31)
生物資源学研究科	修士	—	(6)
(旧)農学研究科	修士	—	(12)
(旧)水産学研究科	修士	—	(1)
②合計		(84)	(2,584)

## 学位授与数

( ) 内は、女子学生数を内数で示す。

専攻分野	修士		博士	
	令和元年度	累計	令和元年度	累計
人文科学	3	(131)	—	—
社会科学	(6)	(94)	—	—
教育学	(10)	(503)	—	—
教職修士(専門職)	(5)	(13)	—	—
医科学	(3)	(107)	—	—
看護学	(7)	(173)	—	—
工学	(18)	(462)	—	—
生物資源学	(18)	(728)	—	—
学術	(2)	(27)	—	—
(旧)農学	—	(12)	—	—
(旧)水産学	—	(1)	—	—
合計	(69)	(2,251)	(16)	(456)

※1: 修士(工学)の累計学位授与者数は工学研究科(前期)の修了者数累計と工学研究科(修士)の累計修了者数1,164名(31)を足す。

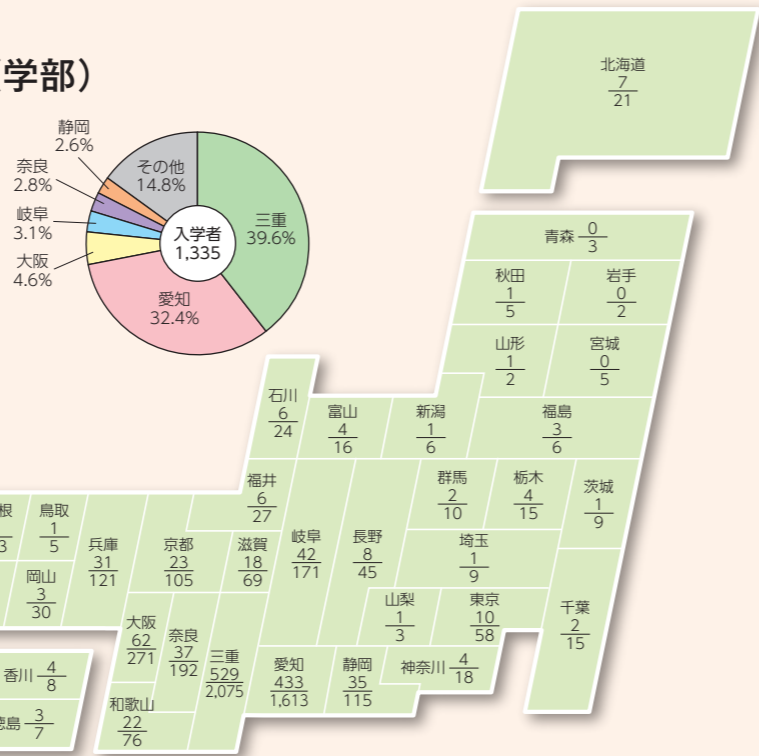
※2: 修士(生物資源学)の累計学位授与者数は生物資源学研究科(前期)の修了者数累計と生物資源学研究科(修士)の累計修了者数152名(6)を足す。

## 都道府県別入学志願者及び入学状況(学部)

令和2年4月1日現在

全体	入学者 1,335人
	入学志願者 5,276人
東海4県の計 (三重、愛知、岐阜、静岡)	入学者 1,039人(全体の77.8%)
	入学志願者 3,974人(全体の75.3%)

※外国人留学生を除く。



上記のほか= 高等学校卒業程度認定試験合格者 1/9、帰国生徒 1/5、在外認定 0/0、外国の諸学校 1/5

## 専攻科・別科

( ) 内は、女子学生数を内数で示す。

区分	修了者数	
	令和元年度	累計
専攻科	特別支援教育特別専攻科	(53)
	(旧)特殊教育特別専攻科	(197)
	(旧)教育専攻科	(19)
別科	農業別科	(18)
③合計	(287)	1,113
総計①+②+③	(26,059)	81,531

## 医療技術短期大学部

( ) 内は、女子学生数を内数で示す。

学科	卒業生数	
	令和元年度	累計
看護学科	(704)	715

令和元年度就職状況

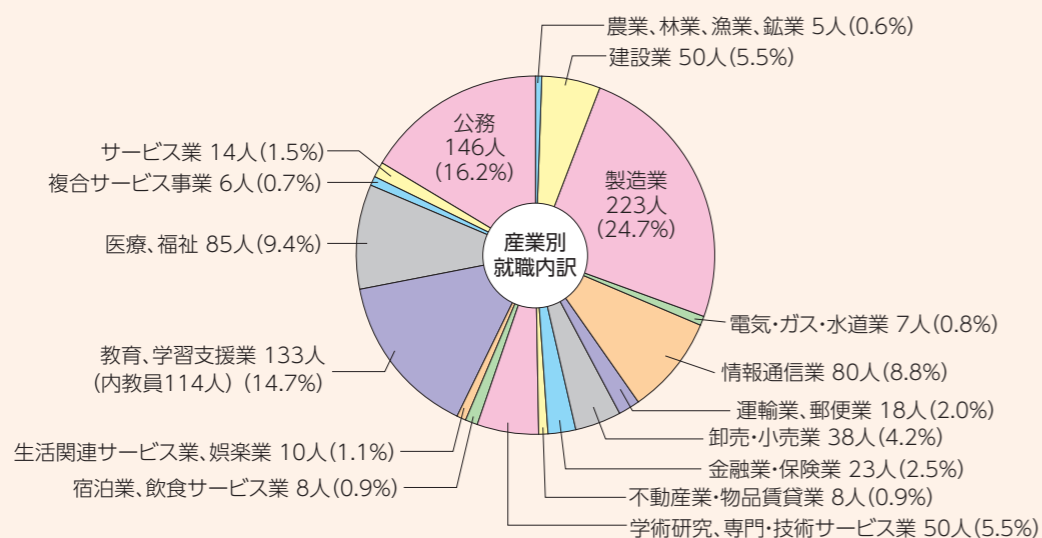
( ) 内は、女子学生数を内数で示す。(注) 博士課程、博士後期課程の修了者については、単位取得満期退学者を含む。

令和2年5月1日現在

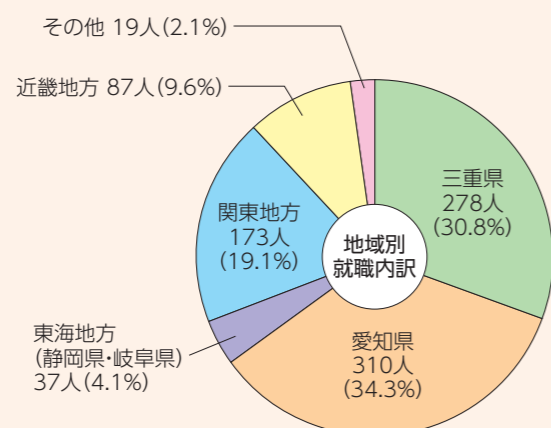
Table showing graduation status by faculty and department. Columns include Faculty, Department, Graduates, and various career paths like Agriculture, Construction, Manufacturing, etc.

Table showing employment destinations by faculty and department. Columns include Faculty, Department, and employment locations like三重県, 愛知県, 東海地方, etc.

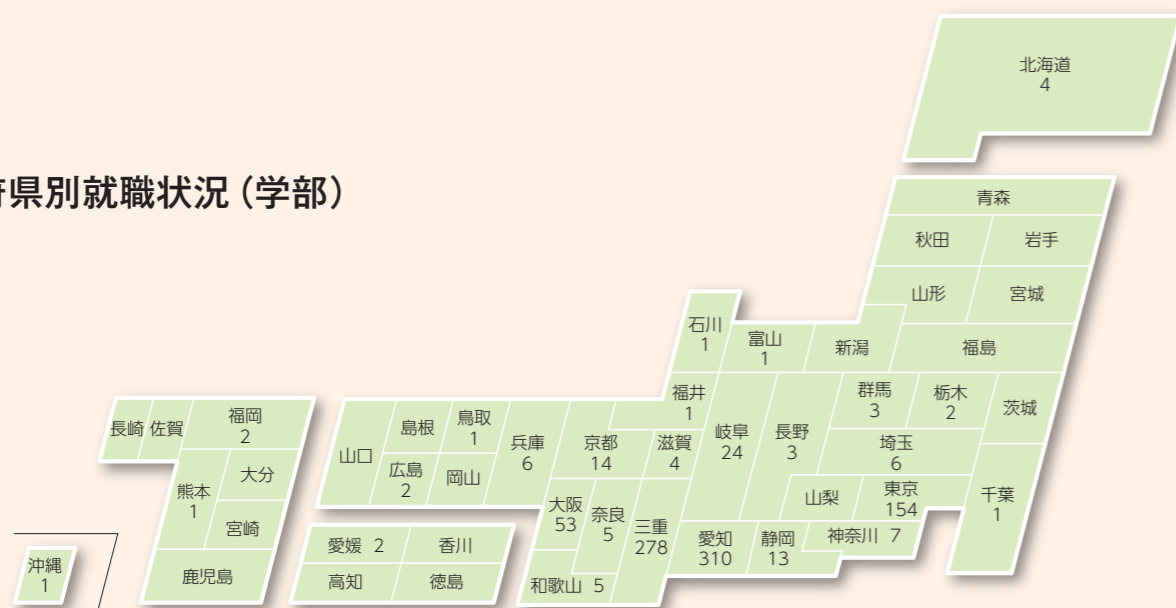
産業別就職状況(学部)



地域別就職状況(学部)



都道府県別就職状況(学部)



外国人留学生数(学部・研究科等別)

学部・研究科等別内訳 ( )内は、女子学生数を内数で示す。 令和2年5月1日現在

学部・研究科等	学部		修士		博士		計
	正規生	非正規生	正規生	非正規生	正規生	非正規生	
人文学部・人文社会科学研究科	16 ( 4)	22 (13)	14 ( 6)	4 ( 3)	0 ( 0)	0 ( 0)	56 (26)
教育学部・教育学研究科	3 ( 1)	1 ( 1)	6 ( 3)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	10 ( 5)
医学部・医学系研究科	0 ( 0)	0 ( 0)	3 ( 2)	1 ( 1)	25 (11)	0 ( 0)	29 (14)
工学部・工学研究科	18 ( 2)	1 ( 0)	11 ( 5)	3 ( 0)	10 ( 4)	0 ( 0)	43 (11)
生物資源学部・生物資源学研究科	1 ( 1)	2 ( 2)	15 ( 4)	3 ( 1)	14 ( 8)	0 ( 0)	35 (16)
地域イノベーション学研究科	0 ( 0)	0 ( 0)	3 ( 1)	0 ( 0)	3 ( 1)	0 ( 0)	6 ( 2)
国際交流センター	0 ( 0)	25 (19)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	25 (19)
計	38 ( 8)	51 (35)	52 (21)	11 ( 5)	52 (24)	0 ( 0)	204 (93)

国別内訳 ( )内は、女子学生数を内数で示す。

30ヶ国・地域		204 (93)					計
地域・国名		学部		大学院		国際交流センター	計
		正規生	非正規生	正規生	非正規生	非正規生	
アジア	中国	11 ( 0)	13 (11)	54 (24)	4 ( 3)	21 (17)	103 (55)
	韓国	14 ( 6)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	14 ( 6)
	ベトナム	9 ( 2)	1 ( 0)	3 ( 1)	0 ( 0)	0 ( 0)	13 ( 3)
	インドネシア	0 ( 0)	0 ( 0)	9 ( 4)	1 ( 0)	0 ( 0)	10 ( 4)
	マレーシア	3 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 1)	0 ( 0)	0 ( 0)	4 ( 1)
	タイ	0 ( 0)	2 ( 1)	3 ( 3)	0 ( 0)	1 ( 1)	6 ( 5)
	台湾	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 0)	1 ( 1)	0 ( 0)	2 ( 1)
	バングラデシュ	0 ( 0)	0 ( 0)	4 ( 2)	0 ( 0)	0 ( 0)	4 ( 2)
	カンボジア	1 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 0)	3 ( 0)
	ラオス	0 ( 0)	0 ( 0)	2 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	2 ( 0)
	ミャンマー	0 ( 0)	0 ( 0)	2 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	2 ( 0)
	ネパール	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 1)	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 1)
	フィリピン	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 1)	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 1)
	スリランカ	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 1)	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 1)
アフリカ	ガーナ	0 ( 0)	0 ( 0)	7 ( 2)	0 ( 0)	0 ( 0)	7 ( 2)
	エジプト	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 1)	1 ( 1)	0 ( 0)	2 ( 2)
	ザンビア	0 ( 0)	0 ( 0)	3 ( 1)	0 ( 0)	0 ( 0)	3 ( 1)
	タンザニア	0 ( 0)	0 ( 0)	2 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	2 ( 0)
	ギニア	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 0)
	ケニア	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 0)
	セイシェル	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 1)	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 1)
	ブラジル	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 1)	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 1)
中南米	メキシコ	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 0)
	フィジー	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 0)
	パプアニューギニア	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 1)	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 1)
オセアニア	ソロモン諸島	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 0)
	ツバル	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	1 ( 0)
	ドイツ	0 ( 0)	8 ( 4)	0 ( 0)	0 ( 0)	2 ( 1)	10 ( 5)
ヨーロッパ	フランス	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	3 ( 0)	0 ( 0)	3 ( 0)
	スウェーデン	0 ( 0)	2 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	0 ( 0)	2 ( 0)
	合計	38 ( 8)	26 (16)	104 (45)	11 ( 5)	25 (19)	204 (93)

正規生	142 (52)	非正規生	62 (40)
-----	----------	------	---------

令和元年度国際交流事業一覧(経費助成対象)

部局名	事業名(申請時の名称)	対象国	申請代表者
教養教育院	英語特別プログラム短期海外研修事前ワークショップ	英国	吉田 悦子
人文学部	海外文化研修「ドイツ・分断の克服をめぐる」	ドイツ	菅 利恵
	「人文系アカデミックスキルを鍛えるキャリア英語実践プログラム2019」の引率及び現地受入状況調査	英国	吉野 由起
教育学部	オークランド大学教育学部との連携による海外教育研修の実施	ニュージーランド	後藤 太郎
医学系研究科	看護学科におけるドイツおよびタイ提携校との相互交流促進事業	ドイツ、タイ	成田 有吾
	海外協定大学との学生交換事業	アジア、北米、欧州 他	櫻井 洋至
工学研究科	ベトナム・ハノイ工科大学と三重大学工学研究科とのツィニング・プログラムの実施(継続平成31年度)	ベトナム	畑中 重光
	インドネシア国立研究所との国際交流(博士学生の受入れについて)	インドネシア	村田 博司
生物資源学研究科	タイ王国カセサート大学とタマサート大学の交流活性化と新たな共同研究の創始	タイ	保世院座狩屋
地域イノベーション学研究科	第11回 地域イノベーション学に関する国際ワークショップの開催(IWRIS2019)	台湾、韓国、カンボジア、タイ 他	三宅 秀人



## 国際交流

### 令和元年度外国人研究者受入れ数

外国人研究者	13名
--------	-----

### 大学間協定 (25カ国・地域, 66大学・機関) ※ ( ) 内は、学部間協定の締結日を示す。

令和2年4月1日現在

大学名	国名	協定締結日	
		一般協定	学生交流の実施に関する覚書
江蘇大学	中国	1986.01.15	1995.09.29
チェンマイ大学	タイ	1989.08.22	1996.01.31
タスマニア大学	オーストラリア	1996.04.01	1996.04.01
バレンシア州立工芸大学	スペイン	1997.07.04	2003.01.10
廣西大学	中国	1999.02.22 (1995.04.21 : 生)	1999.02.22 (1995.12.19 : 生)
カセサート大学	タイ	1999.12.23	2000.07.24
コンケン大学	タイ	2000.07.17 (1994.08.25 : 医)	2000.07.17
エアランゲン・ニュルンベルク大学	ドイツ	2001.03.16	2001.03.16
東国大	韓国	2002.12.16	2004.03.24
梨花女子大	韓国	2002.12.17	2004.03.23
西安理工大	中国	2003.08.28	2003.08.28
スラナリー工科大学	タイ	2003.10.18 (2000.09.08 : 生)	2003.10.18
バングラデシュ農業大	バングラデシュ	2004.03.15	2004.03.15
天津師範大	中国	2004.11.20 (2003.03.15 : 教)	2004.11.20 (2003.03.15 : 教)
ノースカロライナ大ウィルミントン校	米国	2005.12.21	2005.12.21
江南大	中国	2006.02.13 (1998.03.30 : 生)	2006.02.13 (1998.03.30 : 生)
ボゴール農科大	インドネシア	2006.09.24 (2001.09.24 : 生)	2006.09.24 (2001.09.24 : 生)
スリウィジャヤ大	インドネシア	2007.11.06	2007.11.06
タマサート大	タイ	2008.01.15 (2004.02.27 : 生)	2008.01.15 (2004.02.27 : 生)
南京工業大	中国	2008.07.07	2008.07.07
ハイデルベルク大	ドイツ	—	2008.12.12
河南師範大	中国	2008.12.15 (2005.10.26 : 教)	2008.12.15 (2005.10.26 : 教)
世宗大	韓国	2009.02.10	2009.02.10
メジョー大	タイ	2009.03.31	2009.03.31
外国貿易大	ベトナム	2009.05.26	2009.05.26
ホーチミン市師範大	ベトナム	2009.07.28	2009.07.28
上海海洋大	中国	2009.09.24 (1995.10.16 : 生)	2009.09.24 (1996.10.24 : 生)
タシケント国立法科大学	ウズベキスタン	2010.03.22	2010.03.22
内モンゴル工業大	中国	2010.03.31 (2000.03.08 : 工)	2010.03.31 (2000.11.13 : 工)
ハルオレオ大	インドネシア	2010.07.23	2010.07.23
ハワイバシフィック大	米国	2010.09.13	—
シャルジャ大	アラブ首長国連邦	2010.10.04 (2008.12.24 : 医)	2010.10.04 (2008.12.24 : 医)
モンゴル国立大	モンゴル	2010.10.15	2010.10.15
ハバロフスク国立経済法律大	ロシア	2010.10.15	2010.10.15
延辺大	中国	2010.10.15	2010.10.15
サボア大	フランス	2010.11.04	2010.11.04
ポーfum大	ドイツ	2011.03.28	2011.03.28
ジャウメプリメル大	スペイン	2011.04.14	2011.04.14
カーディフ大	英国	2011.07.15	2011.07.15
安徽農業大	中国	2011.10.25 (2008.10.21 : 生)	2011.10.25 (2008.10.21 : 生)
ライブチッチ大	ドイツ	—	2012.02.07
バジャジャラン大	インドネシア	2012.02.24	2012.02.24
タチ大	マレーシア	2012.05.24 (2010.08.02 : 工)	2012.05.24
ブトラマレーシア大	マレーシア	2012.08.08 (2006.09.19 : 生)	2012.08.08
雲南大	中国	2012.08.20	2012.12.25
北京外国語大	中国	2012.09.21 (2012.03.23 : 人)	2012.09.17
セントラル・ランカシャー大	英国	2017.01.31	2013.04.19
国立高雄師範大	台湾	2013.06.18	2013.06.24
国立ラ・モリーナ農業大	ペルー	2013.08.23	2013.08.23
カジェタノ・エレディア大	ペルー	2014.02.11	2014.02.11
フィジー国立大	フィジー	2014.05.05	2014.05.05
南太平洋大	フィジー	2014.05.06	2014.05.06
中国社会科学院日本研究所	中国	2014.09.07	—
カントー大	ベトナム	2014.09.12	2014.09.12
中山大	台湾	2014.10.20	2014.10.20
ザンビア大	ザンビア	2014.11.11 (2007.02.07 : 医)	2014.11.11 (2007.02.07 : 医)
国立金門大	台湾	2015.06.23	2015.06.23
サンパウロ大	ブラジル	2015.07.07 (2011.05.16 : 人)	2015.07.07
南台科大	台湾	2015.08.28 (2014.11.14 : イノベ)	2015.08.28
済州大	韓国	2015.09.14	2015.09.14
ソフィア大	ブルガリア	2016.09.19	2016.09.19
王立ブノンベン大	カンボジア	2017.01.18	2017.01.18
国立台湾海洋大	台湾	2019.01.03	2019.01.03
サンカルロス大	フィリピン	2019.08.16	2019.11.25
中央大	韓国	2019.10.14	2019.10.14
真理大	台湾	2020.01.14	2020.01.14 (2014.10.21 : イ)

### 学部間協定 (26カ国, 55大学・機関)

令和2年4月1日現在

	大学名	国名	協定締結日	
			一般協定	学生交流の実施に関する覚書
教養教育院	シェフィールド大 英語教育センター	英国	2015.09.10	—
人文学部	シャルル・ド・ゴールリール第3大	フランス	1989.11.01	2013.03.15
	リヨン政治学院 (リヨン第2大)	フランス	2002.01.21	2002.01.21
	ルンド大 人文・神学学部	スウェーデン	—	2011.03.18
	南開大 日本研究院	中国	2010.01.22	2013.03.18
教育学部	オークランド大 教育学部	ニュージーランド	2013.08.14	—
	北京理工大 外国語学院	中国	2015.11.16	—
大学院医学系研究科・医学部	マーサー大 医学部	米国	1998.10.29 (1998.11.01発効)	—
	ウェイン州立大 医学部	米国	2002.03.18	—
	上海交通大 医学院	中国	2004.08.11	2009.12.01
	ロストック大 医学部	ドイツ	2004.10.29	—
	廣西医科大	中国	2006.06.06	—
	ムヒンビリ健康科学大 医学部	タンザニア	2007.10.19	2007.10.19
	イエーテボリ大 健康科学部	スウェーデン	2009.01.14	2009.01.14
	ニューメキシコ大 医学部	米国	2009.06.24	—
	ガーナ大 医学部	ガーナ	2010.02.18	2010.02.18
	ベルギア大 医学部	イタリア	2010.02.22	2010.02.22
	蘭州大 第二臨床医学院	中国	2011.03.17	2011.03.17
	ラオス健康科学大	ラオス	2011.09.26	2011.09.26
	アマリタ大 医学部	インド	2012.01.30	2012.01.30
	ヤンゴン第一医科大	ミャンマー	2012.12.17	—
	フリントラス大 医学部	オーストラリア	2014.02.27	2014.02.27
	フライブルク・カトリック応用科学大	ドイツ	2014.06.11	2014.06.11
	ワシントン大 医学部	米国	2014.08.25	—
	マンダレー医科大	ミャンマー	2014.11.04	—
	フィリピン大 マニラ校保健学部	フィリピン	2015.07.23	2015.07.23
	ヤンゴン第二医科大	ミャンマー	2015.10.22	—
大学院医学系研究科・医学部	バンガバンドゥ シャイク ムジブ医科大	バングラデシュ	2015.07.27	2015.07.27
	ベルゲン大 歯学部	ノルウェー	2016.01.21	—
メッシーナ大 医学部	イタリア	2019.10.23	2019.10.23	
大学院工学研究科・工学部	清華大 熱能工程系及び工程力学系	中国	1995.10.01	1995.11.01
	モンクット王ラカバン工科大学 工学部	タイ	2005.09.05	2005.09.05
	浙江大 理学院	中国	2009.03.28	2009.03.28
	パリ工芸大	フランス	2009.08.31	2009.08.31
	財団法人クリーブランドクリニック医用生体工学ラーナー研究所	米国	2011.04.22 (2011.02.01発効)	—
	国立アテネ工科大学	ギリシャ	2012.05.16	2012.05.16
	パドヴァ大 マネジメント工学部・土木環境建築工学部	イタリア	2014.02.17	—
	ベトナム科学技術院 (VAST) エネルギー科学研究所 (IES)	ベトナム	2014.09.30	2014.09.30
	ロイトリンゲン大 工学部	ドイツ	2015.03.05	—
	ホーチミン市工科大学 機械工学部・応用科学部・材料工学部	ベトナム	2015.04.20	2015.04.20
	ガジャ・マダ大 工学部	インドネシア	2019.01.31	2015.07.06
	ガジャ・マダ大 数学自然科学学部	インドネシア	2019.01.31	2019.01.31
	バンドン工科大学 数学自然科学学部	インドネシア	2019.02.19	2019.02.19
	国立成功大 化学工学系	台湾	2019.04.12	2019.04.12
大学院生物資源学研究科・生物資源学部	釜慶国立大 水産科学学部・環境海洋学部	韓国	1995.09.22	2013.02.06
	ハッサン2世農獣医大	モロッコ	2002.11.20	—
	モンクット王トンブリ工科大学 生物資源学研究科	タイ	2009.10.20	2009.10.20
	ゲント大 生物科学工学部	ベルギー	2015.03.09	2015.03.09
	パテイン大 大学院 農業科学・海洋科学研究科	ミャンマー	2016.12.04	—
	マレーシア トレンガヌ大 水産養殖学部	マレーシア	2017.11.28	2017.11.28
大学院地域イノベーション学研究科	セントラル・ルソン大	フィリピン	2018.08.01	2018.08.01
	東ワシントン大	米国	2017.08.03	—
	サウス・シアトル・コミュニティ・カレッジ	米国	2013.10.23	—
地域戦略センター (地域イノベーション推進機構)	財団法人 資通工業策進会 台日産業推進センター	台湾	2013.11.07	—
	高雄医学大 産学營運處	台湾	2017.07.27	—

## 附属図書館

### 利用統計 (令和元年度)

入館者総数	313,552 人
貸出者数	32,216 人
学部学生	4,272 人
大学院生	3,675 人
教職員	1,237 人
学外者 (名誉教授、退職教員含む)	41,400 人
合計	58,724 冊
貸出冊数	9,971 冊
学部学生	7,712 冊
大学院生	3,210 冊
教職員	79,617 冊
学外者 (名誉教授、退職教員含む)	1,430 件
合計	1,955 件
文献複写 学外からの受付 学外への依頼	1,085 冊
図書館間相互貸借 貸出 借受	685 冊

### 学外者利用統計 (令和元年度)

《学外者利用統計》	
登録者数	330 人
貸出冊数	3,171 冊
入館者数	6,163 人

### 《登録者内訳》

	登録者数 (人)
大学生・大学院生	43
大学の研究者	9
大学以外の研究者	8
その他・一般市民	270

### 蔵書数

令和2年4月1日現在

区分	和書 (冊)	洋書 (冊)	計 (冊)
総記	42,634	7,356	49,990
哲学	38,472	9,629	48,101
歴史	56,657	5,417	62,074
社会科学	153,173	21,689	174,862
自然科学	128,215	45,519	173,734
工学	55,851	15,451	71,302
産業	50,301	9,563	59,864
芸術	29,327	3,035	32,362
語学	24,651	10,574	35,225
文学	60,255	18,511	78,766
雑誌	78,583	83,117	161,700
合計	718,119	229,861	947,980

### 学術刊行物 (令和元年度)

人文学部	<p>人文論叢</p> <p>【発行部数】150部 【発行回数】年1回</p> 
人文学部	<p>三重の文化と 社会研究センター ジャーナル TRIO</p> <p>【発行部数】1,000部 【発行回数】年1回</p> 
教育学部	<p>三重大学教育学部研究紀要 附属図書館 HP 学術機関リポジトリ [MIUSE] (<a href="https://mie-u.repo.nii.ac.jp/">https://mie-u.repo.nii.ac.jp/</a>) / 20 教育学部・教育学研究科 /20C 紀要</p> <p>【発行部数】web公開のみ 【発行回数】年1回</p>
医学部	<p>三重看護学誌</p> <p>【発行部数】120部 【発行回数】年1回</p> 
工学部	<p>三重大学工学部研究報告 工学部 HP 研究 / 研究業績 (<a href="http://www.eng.mie-u.ac.jp/research/activities/">http://www.eng.mie-u.ac.jp/research/activities/</a>)</p> <p>【発行部数】web公開のみ 【発行回数】年1回</p>
生物資源学部	<p>三重大学大学院 生物資源学学術紀要</p> <p>【発行部数】600部 【発行回数】年1回</p> 
生物資源学部	<p>三重大学 フィールド研究・ 技術年報</p> <p>【発行部数】200部 【発行回数】年1回</p> 
地域 イノベーション学 研究科	<p>Proceedings of the International Workshop on Regional Innovation Studies</p> <p>【発行部数】300部 【発行回数】年1回</p> 
地域人材 教育開発機構	<p>三重大学高等教育研究</p> <p>【発行部数】180部 【発行回数】年1回</p> 

## 附属病院

### 診療状況 (令和元年度)

診療科	病床数	診療状況			
		入院		外来	
		患者延数 (人)	1日平均患者数 (人)	患者延数 (人)	1日平均患者数 (人)
血液内科		8,978	24.5	7,951	33.1
腫瘍内科		4,681	12.8	5,638	23.5
皮膚科		6,919	18.9	16,622	69.3
眼科		7,168	19.6	30,437	126.8
心臓血管外科・ (小児循環器)		5,642	15.4	3,131	13.0
呼吸器外科		2,104	5.7	2,837	11.8
呼吸器内科		8,389	22.9	11,673	48.6
糖尿病・内分泌内科		1,646	4.5	14,773	61.6
循環器内科		9,957	27.2	16,836	70.2
腎臓内科		2,672	7.3	7,196	30.0
総合内科		548	1.5	738	3.1
肝胆膵・移植外科		14,608	39.9	7,740	32.3
消化管外科		10,031	27.4	10,300	42.9
小児外科		1,896	5.2	2,387	9.9
消化器・肝臓内科		10,494	28.7	20,811	86.7
脳神経外科		9,434	25.8	8,933	37.2
脳神経内科		6,372	17.4	10,860	45.3
整形外科		13,192	36.0	16,687	69.5
形成外科		1,870	5.1	3,648	15.2
放射線科		3,542	9.7	15,641	65.2

### 診療施設等

#### 診療部門

- 総合診療科
- 総合内科
- 循環器内科
- 血液内科
- 消化器・肝臓内科
- 脳神経内科
- 呼吸器内科
- 腫瘍内科
- 腎臓内科
- 糖尿病・内分泌内科
- 感染症内科
- 一般外科
- 消化管外科
- 肝胆膵・移植外科
- 心臓血管外科
- 呼吸器外科
- 乳腺外科
- 小児外科
- 整形外科
- 産科婦人科
- 小児科
- 精神科神経科
- 皮膚科
- 腎泌尿器外科
- 眼科
- 耳鼻咽喉・頭頸部外科
- 脳神経外科
- 形成外科
- 放射線科
- 病理診断科
- ゲノム診療科
- 麻酔科
- 緩和ケア科
- 救急科
- 歯科口腔外科
- リハビリテーション科
- ゲノム医療部
- 救命救急・総合集中治療センター
- 周産母子センター
- 乳腺センター
- 血管ハートセンター
- 高度生殖医療センター
- リウマチ・膠原病センター

診療科	病床数	診療状況			
		入院		外来	
		患者延数 (人)	1日平均患者数 (人)	患者延数 (人)	1日平均患者数 (人)
産科婦人科		11,727	32.0	15,490	64.5
乳腺外科		2,796	7.6	13,854	57.7
小児科・(小児循環器)		9,843	26.9	7,156	29.8
腎泌尿器外科		9,768	26.7	18,429	76.8
歯科口腔外科		3,650	10.0	22,355	93.1
精神科神経科	30	7,799	21.3	17,895	74.6
耳鼻咽喉・頭頸部外科		12,264	33.5	15,725	65.5
麻酔科		0	0.0	7,698	32.1
総合診療科		0	0.0	353	1.5
総合集中治療センター(救急科)		5,301	14.5	814	3.4
周産母子センター		17,378	47.5	0	0.0
リウマチ膠原病センター		972	2.7	4,702	19.6
緩和ケア科		0	0.0	4	0.0
感染症内科		0	0.0	86	0.4
高度生殖医療センター		0	0.0	8,300	34.6
ゲノム診療科		0	0.0	155	0.6
共通病床	655				
合計	685	211,641	578.3	347,855	1,449.4

※総合集中治療センター(救急科)患者延数は救急科患者数のみを計上  
 ※外来の患者延数および1日平均患者数は、外来日数240日で計上  
 ※肝胆膵・移植外科に一般外科患者数を含む  
 ※平成30年度より一般病棟は共通病床化したため診療科固有の病床は保有しない

令和2年4月1日現在

#### 中央部門

- 中央検査部
- 中央手術部
- 臨床麻酔部
- 中央放射線部
- 中央材料部
- 輸血・細胞治療部
- 集中治療部
- 病理部
- 光学医療診療部
- 血液浄化療法部
- リハビリテーション部
- 栄養診療部
- 臨床工学部
- 外来化学療法部
- 肝炎相談支援センター
- 臓器移植センター
- 口腔ケアセンター
- 小児トータルケアセンター
- 認知症センター
- 緩和ケアセンター
- 痛みセンター

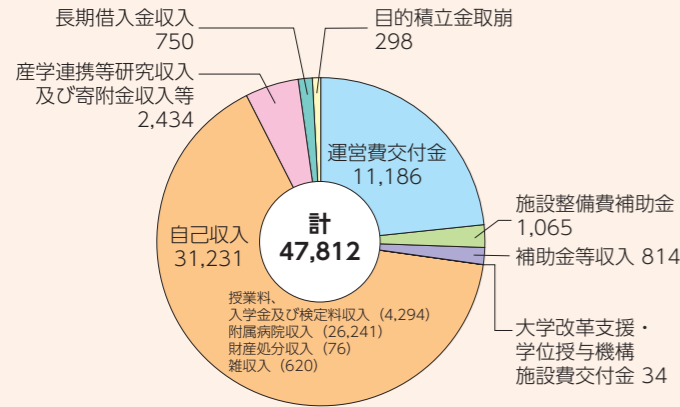
#### 支援部門

- 医療情報管理部
- 臨床研修・キャリア支援部
- 医療安全管理部
- 感染制御部
- 臨床研究開発センター
- がんセンター
- Aiセンター
- 広報センター
- CCUネットワーク支援センター
- 疫学センター
- 災害医療センター
- 国際医療支援センター
- 総合サポートセンター
- チーム医療推進センター
- バイオバンクセンター

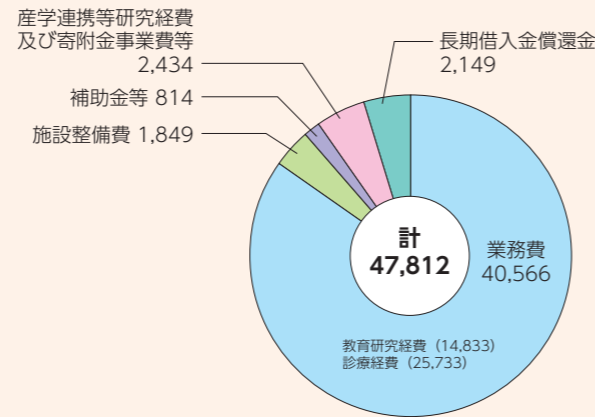


令和2年度予算

収入 (単位: 百万円)



支出 (単位: 百万円)



令和元年度科学研究費助成事業及び民間等との共同研究等受入れ状況

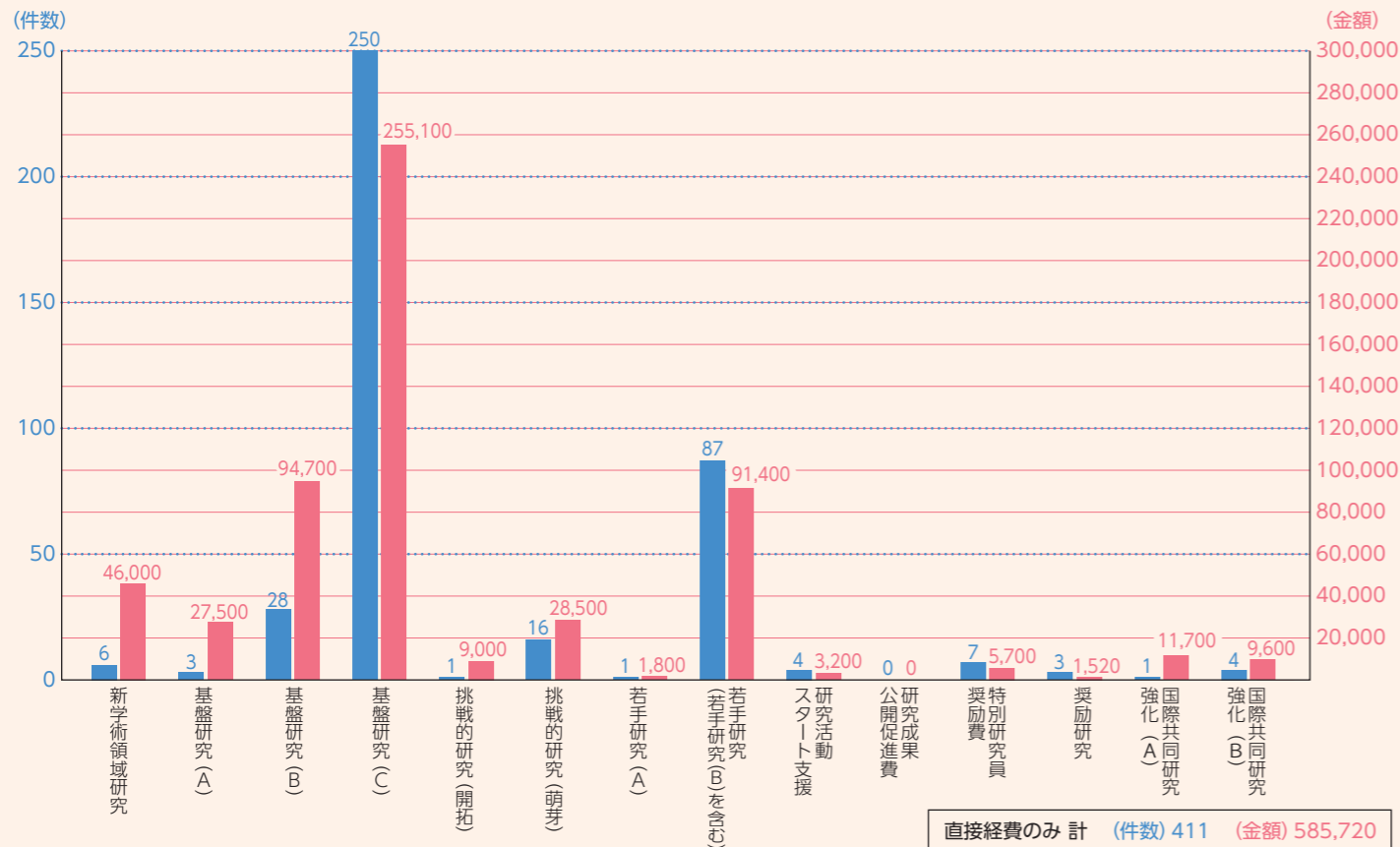
民間企業等との共同研究

(単位: 千円) (千円未満切り捨て)

区分	件数	金額
民間等との共同研究	341	471,892
受託研究	166	744,530
奨学寄附金	1,497	854,589
合計	2,004	2,071,013

科学研究費助成事業

(単位: 千円) (千円未満四捨五入)



厚生保健施設等

厚生保健施設

令和2年4月1日現在

名称	建物延面積 (㎡)	備考
保健管理センター	549	
第一食堂	1,248	収容定員 750人
第二食堂	1,012	296人
翠陵会館	1,762	75人 (食堂)

寄宿舍

令和2年4月1日現在

名称	建物延面積 (㎡)	備考
男子学生寄宿舍 (安濃津寮)	3,851	収容定員 109人
女子学生寄宿舍 (清和寮)	1,245	60人
国際女子学生寄宿舍 (碧海寮)	2,137	75人 (日本人学生 50人 留学生 25人)
外国人留学生会館	1,221	单身室 30室 夫婦室 5室
外国人留学生寄宿舍	3,428	収容定員 175人

体育施設及び課外活動施設

令和2年4月1日現在

名称	面積等 (㎡)	名称	面積等 (㎡)
第一体育館	フロア等	弓道場 (6人立)	396
	柔道場	第二弓道場 (8人立)	360
	剣道場	馬場及び厩舎	5,030
第二体育館	フロア等	アーチェリー場	3,849
	柔道場	ハンドボール場	4,603
	空手道場	ボート艇庫	223
屋内運動場	733	課外活動用車庫	100
陸上競技場 [400mトラック]	23,001	課外活動共用施設	480
野球場	1面	学内合宿所	198
サッカー・ラグビー場	1面	文化系サークル共用施設	352
テニスコート	10面	体育系サークル共用施設	174
第一体育練習場	154	課外活動用シャワー室	19
第二体育練習場	153	総合運動場管理室	120
プール (50m)	2,328	永井記念トレーニングルーム	106

土地・建物

令和2年4月1日現在

地区	部局等	土地 (㎡)	建物 (㎡)
上浜地区	事務局		4,512
	地域イノベーション推進機構		15,636
	保健管理センター		549
	附属図書館		10,411
	教養教育院		12,835
	人文学部		5,295
	教育学部		15,356
	附属教職支援センター		1,727
	医学部		33,842
	附属病院		72,551
	工学部		29,741
	生物資源学部		32,529
	地域イノベーション学研究所		1,568
	体育施設		6,575
	講堂 (三翠ホール)		4,084
	外国人教師等宿泊施設		436
	職員宿舎		1,331
	女子学生寄宿舍		3,382
	外国人留学生会館		1,221
	外国人留学生寄宿舍		3,428
学内共同利用施設		16,657	
その他		5,449	
計		528,040	279,946

地区	部局等	土地 (㎡)	建物 (㎡)
観音寺地区	附属幼稚園		953
	附属小学校		6,503
	附属中学校	3,403	5,728
	附属特別支援学校	*91,759	3,509
	職員宿舎		2,303
	計	3,403	18,996
その他地区	附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター		
	附属施設農場	353,179	7,276
	附属施設演習林	4,569,562	1,421
	附属施設水産実験所	35,649	1,120
	実習船基地	1,356	574
	ボート艇庫	*241	223
	男子学生寄宿舍	7,966	3,851
	職員宿舎	12,537	7,650
計	4,980,249	22,115	
合計	5,511,692	321,057	
		*92,000	

建物 (㎡) はのべ床面積を示す。  
\*借受地を示す。

練習船「勢水丸」

令和2年4月1日現在

全長	50.90m	主機関	1基
型幅	8.60m	航海速力	12.0Kt
型深さ	3.75m	定員	44人
総トン数	318t	竣工	平成21年1月30日



## 地域との相互友好協力に関する協定等

令和2年4月1日現在

締結先等	締結日	締結先等	締結日
◆国の機関		桑名市	H25.07.01
国土交通省中部地方整備局	H23.12.19	松阪市	H25.08.29
◆三重県		南伊勢町	H27.06.02
三重県との災害対策相互協力協定	H17.12.21	玉城町	H28.10.05
三重県との災害対策相互協力細目協定	H19.03.20	木曾岬町	H29.01.16
三重県科学技術振興センター	H19.03.23	明和町	H29.01.19
三重県との「医療」分野における連携に関する協定	H22.01.29	東員町	H29.01.23
三重県（防災危機管理部）	H22.05.26	大台町	H29.02.14
三重県との実演芸術の振興等にかかる連携に関する協定	H25.09.12	紀北町	H29.02.14
三重県総合博物館との相互協力協定	H26.02.26	名張市	H29.02.20
三重県とのみえ防災・減災センター設置に関する協定	H26.04.01	熊野市	H29.02.21
三重県との国際会議の誘致に関する協定	H28.11.22	御浜町	H29.02.21
◆市町との相互友好協力等に関する協定		紀宝町	H29.02.21
尾鷲市	H14.12.02	多気町	H29.02.24
四日市市	H15.10.07	度会町	H29.03.27
亀山市	H16.01.27	菰野町	H29.03.28
鳥羽市	H16.03.22	いなべ市	H29.03.30
朝日町	H16.06.09	川越町	H29.03.30
志摩市	H17.06.21	大紀町	H29.03.31
伊賀市	H18.01.23	◆教育・研究機関等	
津市	H21.02.20	和歌山大学	H16.11.30
鈴鹿市	H22.06.30	鈴鹿医療科学大学	H19.06.22
伊勢市	H23.01.27	三重県教育委員会	H19.11.30
		戦略的連携支援事業	H20.09.26
		朝日大学	H22.02.03
		名古屋大学・愛知教育大学	H24.04.24
		立命館大学	H25.08.28
		藤田保健衛生大学	H26.12.03

締結先等	締結日	締結先等	締結日
三重県獣医師会	H27.03.27	◆企業	
紀伊山系における大規模土砂災害に係る技術、研究開発及び教育の発展を目的とした連携・協力協定	H27.03.27	(株) オートネットワーク技術研究所	H17.05.25
三重県内の高等教育機関と三重県との「高等教育コンソーシアムみえ」に関する協定	H28.03.29	中部電力株式会社	H17.09.14
東海地区国立大学法人の大規模災害対応に関する協定	H29.06.14	富士電機(株)	H18.02.22
鳥羽市立海の博物館指定管理団体・公益財団法人東海水産科学協会	H31.03.18	(株) 百五総合研究所、(株) 百五銀行	H18.03.10
三重大学生協同組合	R1.10.15	日本政策投資銀行	H18.03.10
		(株) 岡三ホールディングス	H18.06.05
		(株) 三重銀行、(株) 三重銀総研	H19.05.28
		三井住友信託銀行(株)	H19.11.01
		(株) 第三銀行	H21.04.20
		三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	H21.07.09
		JAグループ三重	H21.11.12
		(株) シーエナジー	H23.12.22
		日本メナード化粧品(株)	H27.03.09
		(株) 日本政策金融公庫 津支店	H28.03.31
		(株) モビリティランド	H28.11.18

## 公開講座等（令和元年度）

### 公開講座等

開催部局等	講座等	件数	総参加者数
人文学部	市民講座 忍者・忍術学講座「信州松本藩の忍者」 他	69	4,682
教育学部	第17回 青少年のための科学の祭典三重大学大会 他	23	4,903
医学部・附属病院	市民県民公開講座 他	136	10,474
工学部	工学研究科公開セミナー「みんな見せませす工学研究科」 他	25	1,349
生物資源学部	令和元年度公開講座「驚きの生命機能のチカラとその制御」 他	40	1,126
地域イノベーション学研究科	第11回地域イノベーション学に関する国際ワークショップ (IWRIS2019) ・ 第11回台湾・フィリピン・日本国際学術会議 (TPJ-IAC2019)	1	215
教養教育院	教養教育院公開講座 他	4	204
その他	みえアカデミックセミナー2019 他	481	34,492
	計	779	57,445

### 教員免許状更新講習

領域名	講習名	件数	総参加者数
必修領域	教育の最新事情1 他	11	730
選択必修領域	三重県の特別支援教育の課題 他	25	811
選択領域	日常生活と社会科学を結ぶアクティブラーニング実践 他	95	2,206
	計	131	3,747

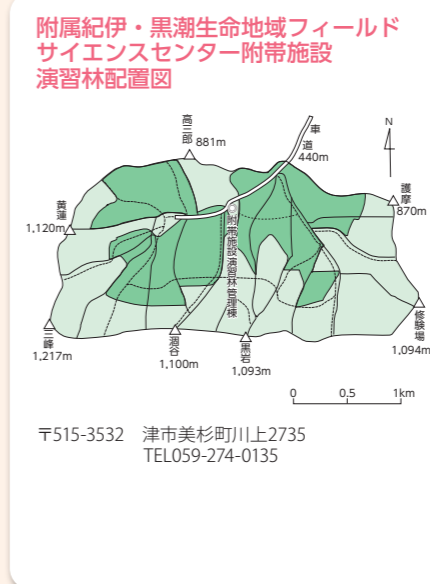
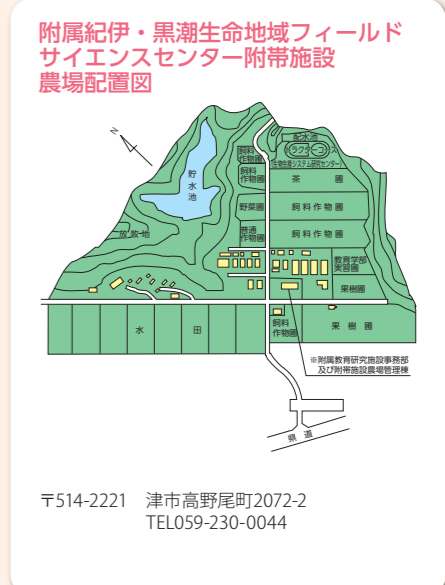
### 出前授業（高等学校対象）

開催学部	授業名	件数	総参加者数
人文学部	家族の人類学 他	29	992
教育学部	三重県の小中学生の学力と学習状況 他	8	352
医学部	シミュレーションを用いた体験型医学医療教育ー生理、解剖から、最新外科手術まで 他	13	396
工学部	コンピュータのしくみ 他	23	830
生物資源学部	森林を守る取り組み 他	9	254
	計	82	2,824

## 三重大学地域貢献活動支援（令和元年度）

番号	活動代表者		活動テーマ	自治体実施先（90自治体）
	所属	氏名		
1	人文学部	吉丸 雄哉	忍者活劇体験のプログラム開発による地域振興	伊賀市
2	教育学部	瀬戸美奈子	桑名市適応指導教室における不登校の子どものキャリア教育	桑名市
3	教育学部	磯部 由香	保育士の食育スキル向上に向けた研修事業	桑名市
4	医学系研究科	冨本 秀和	地域における認知症患者の早期診断と地域包括ケアへの紐付の試み	玉城町
5	医学系研究科	宮田 千春	小山田総合施設群を拠点とした介護老人保健施設における地域性を踏まえた看護職・介護職の教育プログラムの開発	四日市市
6	生物資源学研究科	松村 直人	鈴鹿川等源流の森林づくり活動の支援	亀山市
7	生物資源学研究科	酒井 俊典	東紀州地域における自然災害に対する防災・減災支援活動	御浜町
8	生物資源学研究科	中島 亨	生産者と学生が協働で作出す新しい稲作経営のかたち	津市
9	生物資源学研究科	金岩 稔	大内山川に生息する放流アユ比率の時空間変化	大紀町
10	生物資源学研究科	内迫 貴幸	三重県の素材生産に占める高付加価値材 (S材) の流通調査と林業への還元	三重県
11	地域人材教育開発機構	織田 拓	津市美杉地区における、伝統文化の継承	津市
12	地域人材教育開発機構	東 大史	明和町民とつくるDMO設立に向けたRESASを活用したデータマーケティング	明和町
13	地域拠点サテライト	紀平 征希	「伊賀市の小学生の食生活の現状把握と改善プログラムの開発」	伊賀市
14	地域創生戦略企画室 (生物資源学研究科兼務)	坂本 竜彦	「地域の海をよく知る地域の人々が地域の子どもたちに海を教える」～三重県南部における地域産業振興と結びつけた自然資源を活用する地域人材育成事業	南伊勢町
15	地域創生戦略企画室	アヴシヤル恵利子	津市栗真町屋地区における耕作放棄地解消のための産学官連携プロジェクトの推進	津市
16	人文学部	塚本 明	海女漁村の歴史的古文書の調査研究～志摩市越賀郷蔵文書の文化財指定に向けて～	志摩市
17	人文学部	森 久綱	エコフィードの利活用による地域酪農・畜産の振興	三重県
18	教育学部	伊藤 信成	東紀州地域の星空の観光資源化 (神々が愛した星空発信プロジェクト)	熊野市
19	教育学部	魚住 明生	三重県発における「未来の科学技術イノベーター」を育成する産学官連携プログラムの実施	三重県、津市、四日市市
20	教育学部	須曾野仁志	「論理的思考能力を育成するプログラミング学習の教材開発と東紀州地域での支援活動」	尾鷲市、熊野市、大台町、大紀町、紀北町、御浜町、紀宝町
21	教育学部	重松 良祐	三重大学隣接中学校区の学校園における学習及び活動支援	津市
22	教育学部	大野 恵理	「東紀州地域における小学校外国語(英語)教育システム開発と支援活動」	尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町
23	教育学部	市川 俊輔	科学的思考能力獲得のための高校生の探究活動の指導	三重県
24	医学系研究科	山崎 英俊	歯科のない病院における口腔ケアの現状の把握と標準化の試み	三重県
25	医学系研究科	市川 周平	地域住民の就労と治療の両立を促進するためのリテラシー教育プログラムの開発と、地域での展開	名張市
26	医学系研究科	矢野 裕	まず予防! 家族で取り組む糖尿病発症予防	三重県
27	医学系研究科 (自然科学系技術部)	中川 泰久	日常生活における身近なものと学校授業での知識をリンクさせる事の出来る科学実験	津市
28	生物資源学研究科	中井 毅尚	三重県の中大規模木造建築設計者の育成と空き家対策	三重県
29	地域イノベーション学研究科	三宅 秀人	伊勢市の一次産業に関する課題抽出	伊勢市
30	地域イノベーション学研究科	矢野 竹男	地域に根ざした人的並びに生物的資源の有効活用ー大台町の地域観光施設を中心拠点とした健康長寿対策に関わる人材育成・再教育の支援ー	大台町
31	教養教育院	福田 知子	三重大学平倉演習林で過去に採集された昆虫標本の市民によるカタログ化	三重県
32	地域人材教育開発機構	松岡知津子	地域日本語ボランティア教師用教材の開発	津市、三重県
33	地域イノベーション推進機構 (先端科学研究支援センター)	石河 秀樹	三重大学地域イノベーション推進機構先端科学研究支援センターー動物実験施設と久居農林高校との実験動物飼育に関するインターンシップと校外学習の試み	三重県
34	地域イノベーション推進機構 (地域圏防災・減災研究センター)	川口 淳	地方自治体における防災・減災に関する地域課題解決のための活動支援	三重県、29市町
35	地域イノベーション推進機構 (地域圏防災・減災研究センター)	青木 正晴	地域防災課題解決に向けた地域実践活動の支援	三重県、伊勢市、松阪市、伊賀市
36	人文学部	田中 綾乃	「三重県におけるアートマネージメント養成プログラムの開発」	三重県
37	教育学部	林 朝子	外国人児童生徒の学びの継続を目指す支援活動ーキャリア形成につながる大学見学ツアーの実施ー	津市
38	医学系研究科	若林 英樹	「地域でのアクションリサーチで、健康増進を改善する」	名張市
39	工学研究科	元垣内教司	光技術による産学官の連携と地域産業の振興	三重県
40	生物資源学研究科	亀岡 孝治	東紀州におけるICTを援用した科学的柑橘栽培支援	三重県
41	生物資源学研究科	岡島 賢治	宮川用水のバイパス内のタイワンシジミ詰まり問題解決に向けて	三重県
42	生物資源学研究科	伊藤 良栄	地域の農業水利施設管理の高度化と標準化言語を利用した汎用化	三重県
43	生物資源学研究科	関谷 信人	三重大学オリジナル酒米品種「弓形穂」を活用した多気町地酒ブランド作りへの貢献	多気町
44	生物資源学研究科	飯島 慈裕	津のお米の味と品質を裏付ける生育診断・環境評価手法の開発と実践	津市
45	地域拠点サテライト	山本 康介	東紀州サテライトを拠点とした熊野地域の小中高の児童・生徒に対する「木育」プログラムの開発と実施	三重県

部局等配置図



<http://www.mie-u.ac.jp/>

## 位置図

### 三重県内



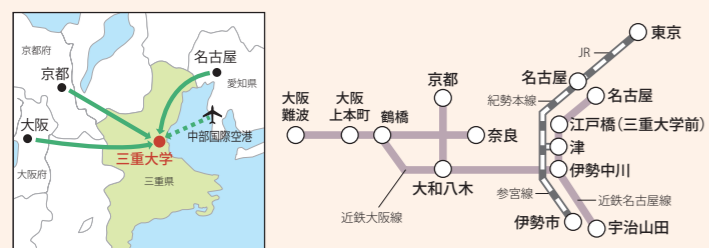
### 津市内



## 部局等所在地

部局等	所在地	電話番号	
教養教育院			
人文学部	〒514-8507 津市栗真町屋町1577	059-232-1211 (代)	
教育学部			
附属幼稚園	〒514-0062 津市観音寺町523	059-227-1711	
附属小学校	〒514-0062 津市観音寺町359	059-227-1295	
附属中学校	〒514-0062 津市観音寺町471	059-226-5281	
附属特別支援学校	〒514-0062 津市観音寺町484	059-226-5193	
医学系研究科・医学部	〒514-8507 津市江戸橋2-174	059-232-1111 (代)	
医学部附属病院			
工学研究科・工学部	〒514-8507 津市栗真町屋町1577	059-232-1211 (代)	
生物資源学研究科・生物資源学部			
附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター	〒514-2221 津市高野尾町2072-2	059-230-0044	
附属施設農場			
附属施設演習林	〒515-3532 津市美杉町川上2735	059-274-0135	
附属施設水産実験所	〒517-0703 志摩市志摩町和具4190-172	0599-85-4604	
附属練習船勢水丸	松阪港 自動船舶電話 インマルサット電話	0598-50-1066 090-3022-8767 001-010-870-764623655	
実習船基地	〒515-0001 松阪市大口町1819-18	0598-51-0710	
地域イノベーション学研究科			
地域人材教育開発機構	〒514-8507 津市栗真町屋町1577	059-232-1211 (代)	
地域イノベーション推進機構			
地域拠点サテライト	伊賀サテライト 伊賀研究拠点	〒518-0131 伊賀市ゆめが丘1-3-3 産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」内	0595-41-1071 (代)
	伊賀サテライト 伊賀連携フィールド・国際忍者研究センター	〒518-0873 伊賀市上野丸之内500 ハイピア伊賀2階	0595-51-7154 059-231-9194 (人文・事務室)
	東紀州サテライト 東紀州教育学舎	〒519-4394 熊野市木本町 1101-4 三重県立木本高等学校 旧寄宿舎 (南風寮)	0597-89-7015 059-231-9346 (教育・事務室)
	東紀州サテライト 東紀州産業振興学舎	〒519-3602 尾鷲市天満浦161番地 東紀州産業振興学舎「天満荘」	059-231-9673 (生物資源・事務室)
伊勢志摩サテライト	海女研究センター	〒517-0025 鳥羽市浦村町大吉1731-68 「海の博物館」内	059-231-9194 (人文・事務室)
北勢サテライト	知的イノベーション研究センター	〒510-0074 三重県四日市市鶯の森1-4-28 ユマニテクプラザ内 1階	059-353-8260
地域創生戦略企画室			
附属図書館			
保健管理センター			
国際交流センター			
総合情報処理センター	〒514-8507 津市栗真町屋町1577	059-232-1211 (代)	
学生総合支援センター			
国際環境教育研究センター			
アドミッションセンター			
事務局			

## 本学への交通案内



- 1. 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで、「白塚駅」(06系統)、「千里駅」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本」(52系統)、「豊が丘」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「三重大学前」下車。(附属病院、医学部、工学部へは「大学病院前」下車。)
- 2. 津駅からタクシーで約10分
- 3. 近鉄江戸橋駅(三重大学前)から徒歩で約15分
- 4. 中部国際空港(セントレア)から津エアポートラインで津なぎさまちへ45分
  1. 「津なぎさまち」から三重交通バスで「津駅前」まで約15分
  2. 「津なぎさまち」からタクシーで約15分

### 近鉄電車「急行」で

名古屋より	近鉄名古屋駅	約60分	江 戸 橋 駅	徒歩
京都・大阪より	伊勢中川駅	約15分	江 戸 橋 駅	約15分

### 近鉄電車「特急」で

名古屋より	近鉄名古屋駅	約50分	三 重 大 学 駅	バス
大阪より	大阪難波駅	約90分		
京都より	京都駅	約110分		

### JR「快速みえ」で

名古屋より	JR名古屋駅	約50分	三 重 大 学 駅	タクシー
				約10分



(三重大学のシンボルマーク)

・宮田修平名誉教授(当時教育学部教授)によるデザイン

—MIEのM

—UNIVERSITYのU

—本を開いたイメージ

—海、波のイメージ(海に面した大学)